



# 環境構築マニュアル

道路情報登録閲覧システム(庁内版)

Ver3.0

Copyright © 2008-2013 ICBA All rights reserved.



【改定履歴】

r

版	更新日	改定内容	
第3.0.0版	2013/3/25	・Windows Server 2008対応	
		・InternetExplorer 8/9、Firefox18.0.1に対応	
第2.0.0版	2010/3/19	・機能追加分の内容について追記	
		・概要書の内容について追記	
		・概要書登録バッチについて追記	
		・タスク登録手順について追記	
第1.1.2版	2009/5/18	背景図(画像)削除バッチの注意事項を追記。	
		地図データ登録手順の地番検索データ(面)、(注記)で指定する格納先レイヤ名を 修正。	
第1.1.1版	2009/3/30	「モニタ」を「ディスプレイ」に修正	
		HDDの回転数の単位をrpmに修正	
		地図データ登録手順の各項に注意書きを追記	
		指定道路図の登録の指定するフォルダ名の説明を修正	
第1.1.0版	2008/1/30	システムバージョンアップ(Ver1.1)に伴い以下の更新を行なった。	
		P20 PostgreSQLのインストール方法について補足	
		P26 PostGisのインストール方法について補足	
		P48 システム起動確認時の補足事項を追記	
		P54 背景(画像)バッチ	
		P61 ユーザ情報の内容を更新	
		添付資料 背景(画像)に対応したためWebサーバのハードディスク容量の算 出方法を更新	
第1.0.1版	2008/11/27	P10 ArcExplorerのダウンロードURLを修正。	
		P11 ArcExplorerで属性を参照する操作方法を修正。	
		P17 ファイアウォールのDBサーバ(PostgreSQL)のポート番号 <b>の例</b> を 5432に修正。	
第1.0.0版	2008/10/24	初版	



道路情報登録閲覧システム(庁内版) Ver3.0 環境構築マニュアル Ver3.0 2013/3/25 更新 2008/10/24 初版 発行:一般財団法人建築行政情報センター



# 【目次】

1	はじめ	סו⊂	1
	1.1 マ=	ニュアル表記について	2
	1.1.1	操作手順	2
	1.1.2	コントロール等の表記	2
	1.1.3	操作上のヒントなど	2
	1.1.4	その他マニュアル表記上の注意	2
	1.2 ご注	主意	3
2	配布(	CD-ROM について	4
2	シフテ	- / ) 楼	5
5		ム情火似安	
4	事前準	「「「」	6
	4.1 必要	要となる機材	6
	4.2 準値	備すべきシステム動作環境	8
	4.2.1	ソフトウェア	8
	4.2.2	ネットワーク	8
	4.3 必要	要となるデータ	10
	4.3.1	データ構造の確認方法	10
	4.4 事前	↑準備チェックリスト	11
5	禐堷枃	<b>觜築作業手順</b>	12
Ŭ	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	<b>- 木 I 「木 」 版</b>	10
	J.1 1F2		
	5.2 ソフ	トウェアのインストール	13
	5.2.1	インストールされるソフトウェア	
	5.2.2	インストールの事前作業	
	5.2.3		
	5.2.4	Postgis のインストール	27
	5.2.5	PostgreSQL の設定更利	
	5.2.0	「OSIGIESGE のインドン フ設定	
	528		
	5.2.9	Zend Optimizer のインストール	
	5.2.10	サーバの再起動	
	5.2.11	インストール状態の確認	47
6	管理え	ちパスワードの変更	
7	ᇦᅮᆠ╒		
ſ	<u>- 地図フ</u> 711	- 一 <b>ノ豆 姚</b> 1 <b>F 未</b> 啓録データー 皆	<b>UC</b>
	1.1.1	1 m / / 52	

#### 道路情報登録閲覧システム(庁内版)Ver3.0 一環境構築マニュアル—

		7.1.2	地図データ登録手順	51
8		指定道	1路の調書データの登録作業	.61
	8.1	管理	ピツールを使用した指定道路調書データの登録作業	61
	8.2	指定	2道路調書データと指定道路図データの関連付け作業	61
		8.2.1	自動リンク機能について	61
9		概要書	特情報の登録	.62
		9.1.1	登録データー覧	62
		9.1.2	概要書情報の登録手順	62
		9.1.3	概要書情報の登録処理の自動化	64
10		ユーサ	「情報の登録	.72
	10.	1 管理	ピツールを使用したユーザ情報の登録	72
11		その他	!のシステム情報の変更	.73
	11.	1 ログ	、 イン時地図表示位置の変更	73
	11.:	2 問し	らわせ先の変更	74
	11.:	3 アッ	プロード容量の設定	76
	11.4	4 その	)他の設定	77
12		クライズ	アントからのアクセス確認	.83
13		アンイ	ンストール手順	.85
	13.	1 Wel	o サーバとアプリケーションの削除	85
	13.2	2 Zen	d Optimizer のアンインストール手順	89
	13.3	3 アプ	゚リケーションフォルダの削除	91
	13.4	4 Pos	tgreSQLとPostGISのアンインストール手順	92
添	付資	【料		.95
	1. 4	ハードウ	ェア選定について	95
		1.1 ハー	・ドウェアスペックについて	95
		1.2 ハー	・ドディスク容量について	97
		1.3 ドラ・	イブ容量が不足してきた場合の対処	. 101
	2	データイ	ンポート、データエクスポートで出力されるエラーメッセージ	107
		2.1 デー	タインポート時のエラーメッセージと対処	. 107
		2.2 デー	タエクスポート時のエラーメッセージと対処	. 112

# 1 はじめに

建築基準法上の道路に関する情報は、建築主事及び指定確認検査機関の確認審査等の事務に必要不可欠な情報 です。道路情報の管理を適正化することで、確認審査等において接道状況を適正に把握することが出来ます。さらに、 道路情報を閲覧に供することで、建築主、設計者、不動産業者等の利便性の向上が図られます。

道路情報登録閲覧システムは、サーバにある空間データを利用して、指定道路等の調書の場所を探したり、登録・印 刷することのできる、地理情報システム(GIS)です。また、特定行政庁内における指定道路等の調書の管理、建築主 等に対する公開機能、建築計画概要書および建築基準法令による処分等の概要書の閲覧機能を有しています。

# 1.1 マニュアル表記について

本マニュアルでは、操作説明等は以下のように表記されています。

## 1.1.1 操作手順

手順を踏んだ操作の場合、その手順に沿って下記のように番号がふられています。

<表記例>

1)手順1

手順1の具体的な操作....

2)手順2

手順2の具体的な操作....

# 1.1.2 コントロール等の表記

コントロールやキーボード操作などは以下のように表記されています。

- · [ ]: ボタンやコンボボックス、メニューなどのコントロール
- ・【 】: ダイアログ・ウィンドウ・パネルなどの画面
- ・ { }: キーボード

# 1.1.3 操作上のヒントなど

操作上のヒントなどを以下のようなアイコンでお知らせしています。

- · • • • • の項目を参照してください。
- ・ 🕅 💠 : ヒントです。
- ・ 🚺 🛛 : 注意事項です。

# 1.1.4 その他マニュアル表記上の注意

- ・マウスのクリック操作はクリックするボタンにより「左クリック」「右クリック」と区別して表記しています。た だし、単に「クリック」と表記している場合「左クリック」のことを指します。
- ・「コンテキストメニュー」とはマウスで右クリックしたときに表示されるメニューのことを示します。

# 1.2ご注意

- ・ システムの環境構築は、このマニュアルに沿っておこなってください。
- ・ 本マニュアルは道路情報登録閲覧システムの標準的な機能について記載してあります。利用者システム環境等により画面構成・機能構成等が一部異なる場合があります。
- ・ 本ソフトウェアの機能仕様・画面構成等は、改良のために予告なく変更される場合があります。
- ・ 本マニュアルで使用している地図は、川崎市都市計画基本図 DM データを複製したものです。
   (承認番号 川崎市指令ま計第66号)
- ・ 指定道路は架空のデータです。現況の道路の指定状況と異なります。
- Microsoft、MS、Windows および Microsoft Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporationの米国および その他の国における商標または登録商標です。
- · その他、記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

# 2 配布 CD-ROM について

庁内版システムのインストールファイルは、配布 CD-ROM の「1Chonai\_LAN」フォルダ以下に下記の構成で収められています。

 IDE : 既にシステムをご利用されている場合、STEP1\_DB\_INSTALL、STEP2\_APP\_INSTALL、STEP3\_Optimizer の3つの フォルダは使用しません。更新インストールマニュアルを参照して、システムのバージョンアップを行なってください。

- ◆ フォルダ「¥1Chonai\_LAN¥マニュアル」
  - はじめに
  - 環境構築マニュアル
  - 更新インストールマニュアル
  - ・ 管理ツール操作マニュアル
  - 運用マニュアル
  - 操作マニュアル
- ◆ フォルダ「¥1Chonai\_LAN¥データ交換仕様」
  - ・ データ交換仕様書
  - フォルダ「サンプルデータ」
    - データ交換仕様確認用サンプルデータ
- ◆ フォルダ「¥1Chonai\_LAN¥STEP1\_DB\_INSTALL」
  - ▶ フォルダ「1.1」
    - ◇ PostgreSQLのインストールを参照
  - ▶ フォルダ「1.2」
    - ◇ PostGIS のインストールを参照
  - ▶ フォルダ「1.3」
    - ◆ データベース設定ファイルの更新を参照
- ◆ フォルダ「¥1Chonai\_LAN¥STEP2\_APP\_INSTALL」
  - ▶ フォルダ「installer」
    - ◆ 道路情報登録閲覧システムのインストールを参照
- ◆ フォルダ「¥1Chonai\_LAN¥STEP3\_Optimizer」
- Zend Optimizer のインストールを参照
- ▶ フォルダ「STEP3\_Optimizer」
- ◆ フォルダ「¥1Chonai\_LAN¥更新インストーラ」
- ▶ 更新インストールマニュアルを参照

# 3 システム構成概要

本システムは、サーバでデータを管理し、クライアントに情報を提供するシステムです。システム利用者は、クライアントとなる PC でブラウザを利用して情報の登録、参照を行うことができます。システムの構成は、下図のとおりです。



図 システム構成図

	クライアント動作環境
--	------------

No		前提条件
1	プラットフォーム	Windows XP SP3 以上,Windows Vista,Windows 7
		※いずれも日本語版
2	ブラウザの種類と版数	Internet Explorer6 SP2, Internet Explorer7.0, Internet Explorer8.0,
		Internet Explorer9.0, FireFox18.0.1
		※いずれも日本語版
3	画面の解像度	1024×768 ドット
4	ブラウザの設定	JavaScript:On,Cookie の使用:許可
		ポップアップブロック:無効
		タブブラウジング:無効
		Internet Explorer8.0, Internet Explorer9.0 は IE7 互換表示設定を利用

# 4 事前準備

道路情報閲覧登録システムを運用するためには、ハードウェア・ソフトウェア・データの準備をする必要があります。

(1)必要となる機材(ハードウェア)

システムを動作させるために必要な機材を準備します。

(2)準備すべきシステム動作環境(ソフトウェア)

データベースや Web サーバなど、システムを動作させるために必要となるソフトウェア群を準備します。

(3)必要となるデータ(データ)

システムで取り扱うデータを準備します。

# 4.1 必要となる機材

概要書機能のみの利用ではない場合、システムを利用するためには以下に示す2つのサーバを稼動させるハード ウェアが必要となります。

■ Web サーバ

DB サーバに格納されたデータを処理するアプリケーションを動作させるための機材

■ DB サーバ

データを格納するためのデータベースを動作させるための機材

また、上記のサーバを適切に運用するため、以下の機材の準備を薦めます。

■ ディスプレイ

日々のサーバのメンテナンスに利用

■ UPS(無停電電源装置)

停電により電力供給が断たれた場合に、安全にシステムをシャットダウンさせるための間の電源を 供給する機材

■ バックアップ装置

定期的にデータのバックアップを行う機材

■ サーバ推奨スペック

本システムを運用するにあたり参考要件を満たすサーバ推奨スペックを以下に示します。



表 参考要件

要件項目	值	備考
行政面積	川崎市相当範囲	
	(約144.35 平方キロメートル)	
管理道路数	3万本	添付ファイル1つあたり7MBと想定
同時アクセス数	同時5アクセスを想定	

表 サーバ推奨スペック

ハードウェア構成	スペック	備考
サーバ1台構成	•CPU :Xeon DualCore 3GHz × 2	調書数及び対象地図範囲に応じて HDD 容量
(Web/DBサーバ共用)	•RAM : 4,096MB	が増減
	•HDD :1,770GB(実使用可能容量)	・HDD は、RAID5構成を推奨
	回転数 15,000rpm	<u>・HDDの回転数は、15,000rpmとすること。</u>
	•OS :Windows Server 2003 SP2	
	(32bit 版)	
バックアップ装置	•LTO3	※推奨
	-400GB×10	
その他周辺装置	・ディスプレイ・キーボード・マウス	※推奨
	(ラック設置タイプ)	
	·UPS	
	・その他	

### 表 追加用サーバ

ハードウェア構成		スペック	備考
サーバ2台構成	•CPU	:Xeon DualCore 3GHz × 2	調書数及び対象地図範囲に応じて HDD 容量
(DBサーバ)	•RAM	:4,096MB	が増減
	•HDD	:100GB(実使用可能容量)	・HDD は、RAID1 構成を推奨
		回転数 15,000rpm	<u>・HDD の回転数は、15000rpmとすること。</u>
	•OS	:Windows Server 2003 SP2	

注)サーバを追加する場合、1 台目のサーバが Web サーバ、追加用サーバが DB サーバとなります。

# 4.2 準備すべきシステム動作環境

# 4.2.1 ソフトウェア

本システムをインストールする前に、以下に示す OS がインストールされている必要があります。

・OS: Microsoft Windows Server 2003(32bit版)または、Microsoft Windows Server 2008(32bit版)

Windows Server 2003/2008 をサーバとして利用する場合、利用形態や利用規模に応じたライセンスを購入する必要があります。

本システムでは、OS以外のWebサーバソフト、DBソフトはオープンソースの無料で使用できるものを採用しています。これらのソフトウェアは、本システムの配布 CD に含まれていますので、別途購入する必要はありませんが、適切な運用を行うために以下のソフトウェアの導入を推奨します。

・ウイルス検知ソフト ・UPS(無停電電源装置)管理ソフト

・バックアップソフト

これらのソフトウェアは本システムの配布 CD に含まれておりません。そのため別途、調達する必要があります。

■ : 行政庁でのシステム整備方針により製品が指定されているケースがあります。確認の上、調達願います。

# 4.2.2 ネットワーク

運用で考慮すべきネットワーク設定については、以下の通りです。

■ IP アドレスの設定

サーバをネットワークに接続し、運用するためには固定 IP アドレスを付与する必要があります。 庁内のネットワーク管理者またはシステム管理者などの IP アドレス管理者に依頼し、サーバ2台分の IP アドレスを取得し、調達したサーバに設定する必要があります。

#### ■利用ポート番号

利用ポートの状況確認は、庁内のネットワーク管理者またはシステム管理者にお問い合わせ願います。

(1)Web サーバ - クライアント間

通信は、http のみを使用します。80番ポートを使用します。

(2)Web サーバ - DB サーバ間

Web サーバ上のシステムが DB にアクセス時に標準では 5432 ポート(推奨)を使用します。ファイアウォ ール等を設置している場合であっても、このポートが使用できるようにする必要があります。 ■ : 行政庁でのシステム整備方針により製品が指定されているケースがあります。確認の上、調達願います。

※ :環境構築対象のサーバで Windows ファイアウォールを有効にしている場合、設定を変更してこれらのポートが使用できるようにする必要があります。Windows ファイアウォールの設定方法については、本マニュアルの 【5.2.2.1 Windows ファイアウォールの設定変更】を参照願います。

# 4.3 必要となるデータ

必要となるデーター覧を以下に示します。これらのデータは本システムのデータ交換仕様に準拠したフォーマットで 用意していただく必要があります。詳細については、添付資料【データ交換仕様書】を参照願います。

分類	データ	概要説明
背景図	・地理的範囲定義ファイル(extent.csv)	GIS 画面に表示する背景図デー
	・地図データリスト定義ファイル(layerlist.csv)	タ。Shape ファイルの他に、各種
	・地図データファイル(*.shp、*.shx、*.dbf、mesh,csv)	CSV ファイル、イメージファイル
	・シンボルイメージファイル(*gif)	も必要となる。
位置検索·	・位置検索データ(住所) (domain.csv, city.csv , major.csv )	GIS にて利用する位置検索デー
索引図データ	・位置検索データ(目標物)(landmarkcode.csv, landmark.csv )	タ、地番検索機能にて利用する
	・地番検索データ(面) (pol_chiban.shp,shx,dbf)	地番データ、索引図の Shape ファ
	・地番検索データ(注記)(txt_chiban.shp,shx,dbf )	イル
	・索引図データファイル(*.shp、*.shx、*.dbf)	
指定道路調書	・道路管理様式 Ver2.0 エクスポートデータ	道路管理様式 Ver2.0 よりエクス
		ポートした指定道路調書データ
指定道路図	・指定道路図データ(*.shp、*.shx、*.dbf)	他 GIS 等で作成した、指定道路
		図データ

表 必要となるデーター覧

# 4.3.1 データ構造の確認方法

### 4.3.1.1 Shape形式のデータ構造の確認

Shape 形式のデータが適切に作成されているか構造を確認するには Shape ファイルを取り扱うことのできる任意の GIS ソ フトをご利用願います。

### 4.3.1.2 CSV形式のデータ構造の確認

レイヤリストや住所リストなどCSV形式のデータ構造を確認するには、インストールCDの【マニュアル¥データ交換仕様¥サンプルデータ】フォルダにあるサンプルデータを利用することが可能です。CSV形式のデータは、テキストファイルであるため任意のテキストファイル編集ソフトで表示することが可能です。添付資料【マニュアル¥データ交換 仕様】フォルダのデータ交換仕様書とサンプルデータを利用し、用意したシステムに登録するCSV形式のデータ構造の確認をすることが可能です。

# 4.4 事前準備チェックリスト

システム動作環境構築のために事前に準備するべき内容を確認するためチェックリストを以下の表に示します。

分類	チェック内容	チェック	備考
機器調達	Web サーバは調達できているか。		
	DB サーバは調達できているか。		
	UPS(無停電電源装置)は調達できているか。		
	バックアップ装置は調達できているか。		
	その他周辺装置は調達できているか。		
ソフトウェア	OS(Windows Server 2003またはWindows Server		
	2008(32bit 版))は調達できているか。		
	ウイルス検知ソフトは調達できているか。		
	UPS(無停電電源装置)管理ソフトは調達できている		
	か。		
	バックアップソフトは調達できているか。		
ネットワーク	IP アドレスは取得できているか。		
	必要となるポート番号は利用可能か。		
データ	背景図データは作成済みか。		
	位置検索・索引図データは作成済みか。		
	指定道路調書は作成済みか。		道路管理様式 Ver2.0 利用
			時のみ
	指定道路図は作成済みか。		移行データありの場合の
			み
その他			

### 表 事前準備チェックリスト

# 5 環境構築作業手順

ここでは環境構築の作業手順について説明します。

# 5.1 作業の流れ

### 環境構築の手順は、以下の通りです。

Image: Imag



# 5.2 ソフトウェアのインストール

システムインストール CD を用いて、ソフトウェアをインストールします。

 ・既にシステムをご利用されている場合、STEP1\_DB\_INSTALL、STEP2\_APP\_INSTALL、STEP3\_Optimizerの3つの
 フォルダは使用しません。更新インストールマニュアルを参照して、システムのバージョンアップを行なってください。

# 5.2.1 インストールされるソフトウェア

本作業により、サーバにインストールされるソフトウェアを以下の表のとおりです。

ソフトウェア名	バージョン	内容	インストールする工程
PostgreSQL	Ver8.2.6	DBMS	データベースの構築
PostGis	Ver1.3	空間 DB	
Roadinfo	Ver3.0	道路情報登録閲覧システム(庁内版)	アプリケーションの構築
MapServer	Ver5.2.0	GIS エンジン	
Apache HTTP	Vor2063	Web $\pm -i$	
Server	Ver2.0.05		
ZendOptimizer	Ver3.3.0	PHP 最適化ツール	
+Lhaca	Ver0.76	LZH,ZIP 圧縮・解凍ツール	

表 インストールされるソフトワェアー:
---------------------

・インストール作業は、データベース(PostgreSQL、PostGIS)のインストール作業とアプリケーションのインストール作業の2つに大別されます。

# 5.2.2 インストールの事前作業

この作業はWebサーバとDBサーバでOSの管理者(Administrator)権限を持ったユーザで実行する必要があります。

### 5.2.2.1 Windows ファイアウォールの設定変更

Windows Server 2008 のファイアウォールの設定を行います。Windows Server 2003 での設定方法は後述します。

1)タスクパーの[スタート]-[コントロールパネル]より、[Windows ファイアウォール]を選択します。



#### 2) [設定の変更]リンクをクリックします。

🐨 Windows ファイアウォール			
<ul> <li>Windows ファイアウォールの 有効化または無効化</li> <li>Windows ファイアウォールに よるプログラムの許可</li> </ul>	Windows ファイアウォール Windows ファイアウォールは、ハッカーまたは悪意のあると はネットワークを経由してアクセスできなくするのに役立ちま ファイアウォールはコンピュータの保護にどのように役立ちま Windows ファイアウォールはコンピュータの保護	/フトウェアがインター ます。 ますか? に役立っています。	•ネットまた
	<ul> <li>Windows ファイアウォールは有効です。</li> <li>例外に登録されていない着信接続がブロックされます。</li> <li>プログラムのブロック時に通知を表示する:</li> <li>ネットワークの場所:</li> <li>ネットワークの場所とは何ですか?</li> </ul>	⑦ 設定の変更 いいえ バブリックネッ	トワーク
関連項目 ネットワーク センター			



💀 Windows ファイアウォールの設定	×
全般例外詳細設定	
例外を使用して、Windows ファイアウォール経由でプログラムが通信する方法を制御します。ファイ アウォール経由の通信を許可するには、プログラムまたはポートの例外を追加してください。	
Windows ファイアウォールには、現在 パブリック ネットワークの場所の設定が使用されています。 <u>プ</u> ログラムのブロックを解除するとどのような危険性がありますか?	
例外を有効にするには、チェック ボックスをオンにしてください(工):	
プログラムまたはポート	
<ul> <li>BTS ピア キャッシュ</li> <li>COM+ ネットワーク アクセス</li> <li>iSCSI サービス</li> <li>Netlogon サービス</li> <li>Secure Socket トンネリング プロトコル</li> <li>SMC Service</li> <li>SNAC Service</li> <li>SNMP Trap</li> <li>Symantec Email</li> <li>Windows Management Instrumentation (WMI)</li> <li>Windows セキュリティの構成ウィザード</li> <li>Windows ファイアウォール リモート管理</li> </ul>	
プログラムの追加(B)… ポートの追加(Q)… プロパティ(D 前形余(D)     「     Windows ファイアウォールによる新しいプログラムのブロック時に通知を受け取る(B)	
OK キャンセル 適用( <u>A</u> )	

### 3)ポートを追加します。

ボートの追加	X
Windows ファイア プロトコルについて(	ウォールでポートを開くには、この設定を使用してください。ポート番号および よ、使用するプログラムまたはサービスのドキュメントを参照してください。
名前( <u>N</u> ):	
ポート番号( <u>P</u> ):	
לובאםלי	© TCP(Ţ) ○ UDP(IJ)
<u>ポートを開くことによ</u>	る危険とはどのようなことですか?
スコープの変更( <u>C</u>	) OK キャンセル

以下、入力値の例を示します。

例

	Web サーバ	DB サーバ
名前	Apache MS4W Web Server	PostgreSQL
ポート番号	80	5432

※2つのポートの設定を行う場合、3)の操作を繰り返します。

4)入力が完了したら、[OK]ボタンをクリックしてウインドウを閉じてください。

#### 道路情報登録閲覧システム(庁内版)Ver3.0 —環境構築マニュアル—

■Windows Server 2003 の場合

1)タスクバーの[スタート] -[コントロールパネル]-[Widows ファイアウォール]-[例外]タブを選択します。

2)以下に示す Windows ファイアウォールのウインドウが表示されるので、[ポートの追加]ボタンをクリックします。

🍃 Windows ファイアウォール	x
全般例外 詳細設定	
入力方向のネットワーク接続は、下で選択されたプログラムおよびサービスのためのものを除き、 Windows ファイアウォールでブロックされています。例外として追加することにより、プログラムによって は動作がよくなる場合もありますが、セキュリティの危険が増加する可能性があります。	
プログラムおよびサービス( <u>P</u> ):	
名前 □ UPnP フレームワーク □ ファイルとプリンタの共有 □ リモート デスクトップ	
プログラムの追加(E) ポートの追加(Q) 編集(E) 育印余(D)	
☑ Windows ファイアウォールによるプログラムのブロック時に通知を表示する(N)	
OK キャンセル	

3)ポートの追加ウインドウで、名前とポート番号の入力をします。

ボートの追加	×
これらの設定を使って、	Windows ファイアウォールでポートを開いてください。ポート番号およびブ 田オスプログラムまたけサードフのドキュメントを参照してください
	1190710726/267 CAWIN17777257#0C1/2016
r	
名前( <u>N</u> ):	
ポート番号( <u>P</u> ):	
	● TCP(T) C UDP(U)
フロニゴの亦面(心)	

以下に Web サーバと DB サーバでの入力値の例を示します。

例

	Web サーバ	DB サーバ
名前	Apache MS4W Web Server	PostgreSQL
ポート番号	80	5432

※2つのポートの設定を行う場合、2)~4)の操作を繰り返します。

<sup>4)</sup>入力が完了したら、[OK]ボタンをクリックしてウインドウを閉じてください。

### 5.2.2.2 サービスの停止

不要なサービスの停止をします。)OS にログインし、IS または Apache のサービスを開始している場合、停止させます。停止 させるサービスが、運用されていないことをシステム管理者に確認してください。サービスの停止方法を以下に述べます。既 に IS を利用した Web システムが稼動している場合、以下の作業によってサービスを停止させると利用できなくなりますので 注意してください。Windows Server 2003 の場合の操作は後述します。

#### ■Windows Server 2008の場合

▶ IIS の停止操作例

1)タスクバーの[スター	-ト]ー[コマンドプロン	ノプト]を選択します。
--------------	--------------	-------------



2) 以下の画面で、 net stop was と入力し, [ENTER] キーを押します。



道路情報登録閲覧システム(庁内版)Ver3.0 —環境構築マニュアル—

4)以下の画面が表示され、コマンドプロンプトが表示されている状態になりましたら、このウインドウを閉じ作業を終了し

# ます。

■□ ×	
Microsoft Windows [Version 6.0.6001] Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation. All rights reserved.	
C:¥Users¥Administrator>net stop was 次のサービスは Windows Process Activation Service サービスに依存しています。 Windows Process Activation Service サービスを停止すると、これらのサービスも停止 されます。	
World Wide Web Publishing Service	
この操作を続行しますか? (Y/N) [N]: y World Wide Web Publishing Service サービスを停止中です. World Wide Web Publishing Service サービスは正常に停止されました。	
Windows Process Activation Service サービスを停止中です. Windows Process Activation Service サービスは正常に停止されました。	
C:¥Users¥Administrator>_	-

▶ IIS 以外のサービスを停止するには

IS 以外の Apache などのサービスを停止するには、[スタート]メニューの[すべてのプログラム]-[管理ツー ル]-[サービス]を選択してサービスの一覧を表示します。後述の Windows Server 2003の操作を参考にして、任意 のサービスを選択して停止させてください。 ■Windows Server 2003 の場合

1)タスクバーの[スタート]-[マイコンピュータ] - 右クリック - [管理]を選択します。



#### 以下の画面が表示されます。

<ul> <li>□ンピュータの管理     <li>ファイル(E) 操作(A) 表示(M)</li> <li>(本) →        <li>(a)        <li>(b)        <li>(b)        <li>(c)        <li>(c)        <li>(c)        <li>(c)        </li> <li>(c)         </li> <li>(c)         </li> <li>(c)         </li> <li>(c)         </li> <li>(c)        </li> <li>(c)        </li> <li>(c)        </li> <li>(c)        </li> <li>(c)        </li> <li>(c)        </li> <li>(c)        </li> <li>(c)        </li> <li>(c)        </li> <li>(c)        </li> <li>(c)         </li> <li>(c)         </li> <li>(c)         </li> <li>(c)         </li> <li>(c)         </li> <li>(c)         </li> <lp>(c)         </lp></li> </li> <li>(c</li></li></li></li></li></li></li></ul>	ウィンドウ₩) ヘルプ( <u>H</u> ) ? ■   ▶ ■    ■>			
コンピュータの管理(ローカル) システム ツール サステム ツール サイベント ビューア サージステム フーガルダ サージス ローカル ユーザーとグループ アパフォーマンス ログと警告 デバイス マネージャ 記憶域 サイビスとアプリケーション ティスクの管理 サービスとアプリケーション ティンクの管理 サービスとアプリケーション ティンクの管理 サービスとアプリケーション ティンクの管理 サービスとアプリケーション ティンクの管理 インデックス サービス オージックス サービス インデックス サービス マンクロール インデックス サービス ロープレフォーン	サービス     IIS Admin Service     サービスの開始     説明:     このサーバーで Web と FTP サービスの管     理を可能にします。このサービスが停止する     と、サーバーでは Web、FTP、NNTP また     は SMTP の各サイトの実行や IIS の構成     が不可能になります。このサービスが無効に     なると、このサービスに明テ的に依存してい     るあらゆるサービスが起動できなくなります。	名前 A Distributed Link Tr Distributed Transa DNS Client Error Reporting Ser Event Log File Replication Help and Support HID Input Service HTTP SSL UMAPI OD-Burning Indexing Service Intel NCS NetServi Intel NCS NetServi	説明     状態       同じド     データ     開始       このコ     予期     ダブル       予期     ダブル       複数     ペルフ       人ルフ     町皓       このサ     可サ       ゴMAPL     ローカ       百名     桜indo	スタートアップの種類       無効       自動       自動       自動       自動       自動       自動       自動       手動       手動
× >		IPSEC Services     Korbaraa Kau Diatri	TCP/I 開始 ドリイ	自動 ₩ <sup>5</sup> h

- 3)画面左のコンピュータの管理のツリーから、"サービスとアプリケーション"ー"サービス"を選択します。
- 4)サービスの一覧から、IISを停止させるには IIS Admin Service、Apacheを停止させるには Apache2(バージョン2の場合) を選択して、ダブルクリックします。

以下の画面が表示されます。

(ローカル コンピュータ)	) IIS Admin Service ወプロパティ 🤗 🗙	
全般 ログオン 回	Ⅰ復 ↓依存関係 ↓	
サービス名:	IISADMIN	
表示名( <u>N</u> ):	IIS Admin Service	
i说明( <u>D</u> ):	このサーバーで Web と FTP サービスの管理を可能にします。こ 🔺 のサービスが停止すると、サーバーでは Web、FTP、NNTP また 🖕	
実行ファイルのパス( C:¥WINDOWS¥sys	H): tem32¥inetsrv¥inetinfo.exe	[無効]を選択します。
スタートアップの 種類( <u>E</u> ):	<b>医</b> 为	
サービスの状態: 開始(S)	停止 (停止 <del>(1)) </del>	[停止]をクリックします。
 ここでサービスを開始		
開始パラメータ( <u>M</u> ):		
	OK キャンセル 適用(A)	

5)OSの再起動時に実行されないように、スタートアップの種類を[無効]を選択します。

6)サービスの状態が開始になっている場合、[停止]をクリックしてサービスを停止します。

7)[OK]ボタンをクリックして、ウインドウを閉じます。

8)コンピュータの管理ウインドウを[X]ボタンをクリックして閉じます。

# 5.2.3 PostgreSQL のインストール

本システムで必要なデータベースのインストールを行います。この作業は DB サーバで OS の管理者 (Administrator)権 限を持ったユーザで実行する必要があります。

STEP1\_DB\_INSTALL¥1.1¥postgresql-82-ja.msi」をダブルクリックし、実行します。
 (詳しくは PostgreSQL のマニュアルを参照してください http://www.postgresql.jp/)
 セキュリティの警告ウインドウが表示された場合、[実行]ボタンをクリックしてください。

### 2)以下の画面で、[次へ]ボタンをクリックしてください。

🚰 PostgreSQL	
PostereSQL インストールウイザードへようこそ	stgreSQL
インストールする前に、全てのウインドウズ・プログラムを閉じてください。	
続ける場合、「次へ」ボタンをクリックしてください、もし中止したいとき、または後で再度イン ときには「キャンセル」ボタンをクリックしてください。	ンストールをしたい
戻る(日) 次へ(1)	キャンセル

3)[次へ]ボタンをクリックしてください。



4)[Browse]ボタンをクリックし、任意のインストールパスを指定します。

データベースデータをインストールするため、データ・ディレクトリは空き容量の多いドライブを選択して、インストールしてください。

 ・他のインストールオプションを操作すると、[Browse]ボタンがクリックできない状態になります。その場合、インストールオプションのツリーの[データ・ディレクトリ]を選択することで、クリック可能になります。



5) 4)と同じ画面でインストールオプションのツリーから「PostGIS 空間の拡張」を選択し、[ローカルなハードディスクドラ イブにインストールされます]を指定します。

インストールパスの設定が終わったら、[次へ]ボタンをクリックしてください。

🚏 PostgreSQL	
インストールオプション	PostgreSQL
□ □ ・ データベースサーバー ・ データ・ディレクトリ × ・ ■ ・ 、 ・ 、 ・ 、 ・ 、 、 ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	地理学のデータのための機能、および データタイプ。
<ul> <li>□ーカルなハードディスクドラ</li> <li>□=□= 全体の機能は、ローカルな/</li> <li>□=□= 全体の機能は、ローカルな/</li> <li>□=□= 全体の機能は選択されませ</li> </ul>	(ブにインストールされます) ードディスクドライブにインストールされます ん
	Browse
戻る(	※ 次へ(N) キャンセル

6) postgres サービスを実行するユーザアカウントを設定します。

🙀 PostgreSQL			
サービス構成	<b>PostgreSQL</b>		
☞ サービスのインス	トール		
サービス名	PostgreSQL Database Server 8.2		
アカウント名	postgres FXTン名は、変更しな		
ドメイン名			
パスワード	*****		
バスワードの確認	パスワードは、Kenchiku1と入力して *******		
サービスアカウントはPostgreSQLデータベースサーバーを走らせるアカワントに9。いにアカワント を作成していないなら、インストーラによって作成できます。アカウント名とパスワードを入力する か、またはパスワードを自動生成させるために空白の状態でおいてください。			
	戻る(1) 次へ(1) キャンセル		

画面の例に従い入力したら、[次へ]ボタンをクリックししてください。

7)以下のウインドウが、表示されたら[はい]ボタンをクリックしてください。

アカウントエ	ラーです		×
2	ユーザー	'XXXXX¥postgres'	を見つけることが出来ませんでした、自動的に作り出しますか?
		2(3 <b>t</b> )	2 いいえ( <u>N</u> )

8)以下のウインドウが、表示されたら[いいえ]ボタンをクリックしてください。

パスワード	
2	あなたが明示したパスワードは、弱いように見えます。インストーラーに、それをランダムなパスワードと取り替えますか?

9)エンコーディングを「UTF-8」に変更して[次へ]をクリックしてください。

🙀 PostgreSQL			
データベースクラス	タの初期化		PostgreSQL
	ラスタの初期化 5432 すべてのアドレスで	5432 ポートのオ	利用を推奨します。 5 体だのlocalhostではなく)
ロケール	C	-	
エンコーディング	UTF-8		スーパーユーザー名は postgres、パ
スーパーユーザ名	postgres	これは、内部の	スワードは、Kenchiku1 と入力してく
パスワード	****	15317520	ださい。 
バスワードの確認	xxxxxxxxx		
		戻る(B)	次へ(1) キャンセル

10)以下の画面で[次へ]ボタンをクリックしてください。

🙀 PostereSQL	_ <b>_</b> ×
手続き言語を可能にする	PostgreSQL
基本のデータベースです デフォルト状態のまま、	
▼ PL/pgsql 「次へ」をクリックしてください。	
🗖 PL/peri	
■ PL/perl(信頼されない)	
▶ PL/python(信頼されな())	
PL/tel	
■ PL/tcl(信頼されない)	
▶ PL/java (信頼される、また信用のない)	
戻る( <u>B</u> )	次へ図またとせん

## 11)以下の画面で[次へ]ボタンをクリックしてください。

🙀 PostgreSQL			
貢献モジュールを可能	にする	<b>PostgreSQL</b>	
追加される貢献モジュールは、専門的に特殊化された機能です、初期のtemplateデータベースヘイン ストールしたいときにそれらを選択します、すべてのファイルはインストールされます、従ってモジュールは、 適当なSQLスクリプトを実行することによって後で付け加えることができます。			
🔽 Adminpack.	Aggregator	🗖 Crypto. Functions 🦵 Time Travel	
🔲 B-Tree GiST	🔲 Integer Array	From lock SSL Info	
🗖 Chkpass	🗖 ISN	□ PGStatTuple □ Table Functions	
🔲 Cube	🔲 Large Objects (lo)	🗖 SEG 👘 TSearch2	
🗖 DBlink	🗖 L-Tree	Aut Aut	
🔲 Earth Distance	🔲 Buffercache	□ Inse デフォルト状態のまま、	
Fuzzy String Match	🔲 Freespace map	Mod	
☐ Hstore	🔲 Trigram Matching	■ Ref 「次へ」をクリックしてください。	
		戻る(B) (次へ(N)) キャンセル	

### 12)[次へ]をクリックしてください。

🚏 PostgreSQL	
インストールの準備ができました	PostgreSQL
PostgreSQLは、インストールする準備が整いました、「次へ」の	りリックでインストールは完成します。
戻る	<ul> <li>() 次へ(1) キャンセル</li> </ul>

13)インストールが開始されます。

🙀 PostgreSQL	
インストール,中	PostgreSQL
	[ キャンセル ]

14)インストールが完了すると以下の画面が表示されます。

[終わる]ボタンをクリックしてください。PostGreSQLのインスールは完了です。

🚏 PostereSQL	
インストールは完了しました!	PostgreSQL
おめでとうございます、あなたのシステムにPostgreSQLをインス 私たちは、あなたにメーリングリスト(pgsgl-announce)に予約 情報やパグフィックスについて得ることができます。 -	ストールすることに成功しました。 することを薦めます、そこでは、新しいリリース
pgsql-announceへ予約する	クリックする必要はありません。
「終わる」ボタンで、インストーラを終了します。	
三	(B) (***********************************

# 5.2.4 PostGIS のインストール

PostGIS のインストールを行います。この作業は、DB サーバで OS の管理者(Adminstrator)権限を持ったユーザで実行す る必要があります。

### 1)「STEP1\_DB\_INSTALL¥1.2¥postgis-pg82-setup-1.3.2-1.exe」をダブルクリックし、実行します。

セキュリティの警告ウインドウが表示された場合、「実行」ボタンをクリックしてください。

ライセンスに同意する場合、[I Agree]ボタンをクリックしてください。同意しないとインストールが行えませんので、同意 願います。

🚯 PostGIS 1.3.2 for PostgreSQL 8.2 Setup			
👝 🍥 🎱 License Agreement			
Please review the license terms before installing PostGIS 1.3.2 for PostgreSQL 8.2.			
Press Page Down to see the rest of the agreement.			
GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991			
Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc. 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.			
Preamble			
The licenses for most software are designed to take away your			
If you accept the terms of the agreement, click I Agree to continue. You must accept the agreement to install PostGIS 1.3.2 for PostgreSQL 8.2.			
Nullsoft Install System v2.18			
I <u>A</u> gree Cancel			



### 2)[Next>]ボタンをクリックしてください。

🚯 PostGIS 1.3.2 for PostgreSQL 8.2 Setup			
👝 🍥 🎱 Choose Components			
	Choose which features of PostGIS 1.3.2 for PostgreSQL 8.2 you want to install.		
Check the components you want to install and uncheck the components you don't want to install. Click Next to continue.			
Select components to instal	: PostGIS	Description Position your mouse over a component to see its description,	
Space required: 11.1MB			
Nullsoft Install System v2, 18			

3)PostgreSQL がインストールされているフォルダである事を確認し、[Next>]ボタンをクリックしてください。

Restars 1.3.2 for PostgreSQL 8.2 Setup			
👝 🦻 🌯 Ghoose Install Location			
Choose the folder in which to install PostGIS 1.3.2 for PostgreSQL 8.2.	前の作業で、PostgreSQLをインストールしたフォル		
Setup will install PostGIS 1.3.2 for PostgreSQL 8.2 in the following folder. To install it different folder. Click Next to continue	ダ(データベースシステム本体のパスです。20 ページ		
difference folder, cick browse and select another folder. Cick Next to continue.	を参照)を確認し、[Next>]ボタンをクリックします。		
	■「データディクトリ」を設定しないように注意してくだ		
	さい。「データディレクトリ」は空き容量の多いパス選		
Destination Folder	択するときに指定したパスです。		
C:¥Program Files¥PostgreSQL¥8.2¥ Browse.	【誤りの例】 データ・ディレクトリ		
Space required: 11.1MB	c:¥Program Files¥PostgreSQL¥8.2 <u>¥data</u>		
Space available: 7.9GB			
Nullsoft Install System v2,18	ここではデータベースシステム本体をインストールした		
< <u>B</u> ack <u>N</u> ext >	バスを指定します。		
	【例】デフォルトのデータベース本体のインストールパス		
	c:¥Program Files¥PostgreSQL¥8.2		



👘 P	ostGIS 1.3.2 for Post	ereSQL 8.2 Setu	p: Databas	e Connection		×	
		Database Connec	tion				
		Specify the databa	ase connectio	n			
[	- Database Connection Inf	ormation					
	User Name: postgres Password:						
	Port: 5432						
				User Nameは ください。Passwo 入力してください。	postgres と ord は、Ker	:入力 Ichiku	して 12
Nuli	soft Install System v2,18 –		< Back	Nevt >	Cancel	_	
			. 2001				

### 5)[Install]ボタンをクリックしてください。

🚯 PostGIS 1.3.2 for PostgreSQL 8.2 Setup: Database Name 📃 🔲 🗙			
• • •	Database Name		
	Specify the name of the spatial database to be created at the end of the installation process		
Spatial Database Information			
Database Name: post	Database Name: postgis		
	デフォルト状態のまま、		
	[Install]をクリックしてください。		
Nullsoft Install System v2.18 –			
	< <u>Back</u> Install Cancel		



#### 6) インストールが開始されます。

🚯 PostGIS 1.3.2 for PostgreSQL 8.2 Setup		
	Installation Aborted	
	Setup was not completed successfully.	
Chann data ta		
Nullsoft Install System v2.18 –		
	< <u>B</u> ack <u>C</u> lose	Cancel

### 7)次の画面が表示された場合は[はい]ボタンをクリックしてください。

🏠 PostGIS 1.3.2 for PostgreSQL 8.2 Setup	X
WARNING: The installer has detected that the PostGIS template database 'template_postgis' already exists in your PostgreSQL installation. In orde install this version of PostGIS, it is necessary to create a new 'template_postgis' database, so any manual changes you have made to this database will be lost.	rto e
Do you still wish to proceed with the installation?	

### 8)[Close]ボタンをクリックしてください。

PostGIS のインストールは、これで完了です。

# 5.2.5 PostgreSQLの設定更新

データベースの設定を更新します。この作業は DB サーバで OS の管理者(Adminstrator)権限を持ったユーザで実行 する必要があります。

### 1)PostgreSQLのサービスの停止をします。

2)タスクバーの[スタート]-[すべてのプログラム]-[PostgreSQL 8.2]-[サービスの停止]を選択します。

メモ帳	👼 Symantec Client Security	<ul> <li>١</li> <li>١</li></ul>
	💼 アクセサリ	▶ 💼 構成ファイル 🔹 ▶
電卓	💼 スタートアップ	🕨 🖤 pgAdmin 🎞
	💫 リモート アシスタンス	🖤 'postgres'へのpsql
Dinternet Explorer	🛅 管理ツール	▶ 🔤 コマンド・プロンプト
Ŭ	🥭 Internet Explorer	サービスの起動
	🗐 Outlook Express	📰 サービスの停止
	💼 PostgreSQL 8.2	▶ 📰 構成をリロード
	m PostGIS 1.3.2 for PostgreSQL 8.2	
	🗕 🧰 roadinfo	▶
すべてのプログラム(型)	🎽 🛅 Zend Optimizer - 3.3.0	▶
		<u>יש</u> לא <u>ש</u>
🍠 እቃート 🛛 🥭 🚱	デスクトップ	パュータの管理

### 3) インストール CD の「STEP1\_DB\_INSTALL¥1.3」フォルダを開きます。

「STEP1\_DB\_INSTALL¥1.3」フォルダには、サブフォルダ「config1」「config2」があり、それぞれ postgresql.conf ファイルが あります。通常、動作推奨スペックを満たしたサーバへインストールするときは、項番1の config1 フォルダの設定ファイ ル(postgresql.conf)を使用します。項番1の条件を満たさないがメモリを1GB 以上搭載した PC へ試験的にインストール する場合は、config2 フォルダのファイルを使用します。

Image: Imag

表インストール対象			
項番	サブフォルダ名	インストール対象サーバ、または PC	
1	config1	Web サーバとDB サーバが 1 台のサーバでメモリが4GB	
		ある場合、または DB サーバ 1 台で、メモリが2GB 搭載さ	
		れているサーバ	
2	config2	非推奨動作環境ではあるが、メモリを1GB 以上搭載した	
		PC へ試験的にインストールする場合	

インストール対象サーバまたは PC の動作環境に合致した config1または config2 フォルダの postgresql.conf ファイル と pg\_hba.conf ファイルを PostgreSQL インストールフォルダの data フォルダにコピーします。

data フォルダのパスの例:

c:¥Program Files¥PostgreSQL¥8.2¥data

このフォルダにエクスプローラーで postgresql.conf ファイルと pg\_hba.conf ファイルをコピーします。


前の作業で PostgreSQL をインストールしたパスを基準とします。C ドライブのデフォルトのパス以外にインストールされている場合、読み替えてください。

4)PostgreSQL のサービスの起動を行います。タスクバーの[スタート]-[すべてのプログラム]-[PostgreSQL 8.2]-[サ ービスの起動]を選択します。

メモ帳	🛅 Symantec Client Security	• ۲۲۲۲۲
i	🛅 アクセサリ	▶ 🛅 構成ファイル 🔹 🕨
電卓 🛒 🛒	🛅 スタートアップ	🕨 🗣 pgAdmin 🎞
	💫 リモート アシスタンス	🖤 'postgres'へのpsql
Internet Explorer	🛅 管理ツール	▶ 🔤 コマンド・プロンプト
Ŭ	a Internet Explorer 😸	🔄 サービスの起動
	🗐 Outlook Express	🔄 サービスの停止
	💼 PostgreSQL 8.2	▶ 📰 構成をリロード
	m PostGIS 1.3.2 for PostgreSQL 8.2	
	im roadinfo	•
すべてのプログラム( <u>P</u> )	🎽 🛅 Zend Optimizer - 3.3.0	
	🕗 🕖 🚺 🚺 🖉	<u>ישעש</u>
🍠 እቃ-ት 🛛 🥭 🚱	🔄 デスクトップ 📃 コン	パコータの管理

# 5.2.6 PostgreSQLのネットワーク設定

本作業は、DB サーバとWeb サーバが異なる2台の機器で構成されている場合、データベースの設定ファイル (pg hba.conf、postgres.conf)を編集し、2台のサーバ間をネットワークで利用できるようにする作業です。DB サーバと Web サーバを1台の機器で運用する場合、この作業をする必要はありませんので、5.2..7 へ進んでください。 データベースのネットワークの設定を更新します。この作業は DB サーバで OS の管理者(Adminstrator)権限を持った ユーザで実行する必要があります。

1) DB サーバで、以下のファイルをデスクトップにコピーします。

<インストールドライブ>:¥Program Files¥PostgreSQL¥8.2¥data¥pg\_hba.conf

2) デスクトップの pg\_hba.conf をメモ帳で開きます。

ファイルの 70 行目にの IP アドレスを 0.0.0.0 から Web サーバの IP アドレスに書き換えます。

📕 pg_hba	a.conf – 🖈	モ帳					
ファイル(F)	編集(E)	書式(0) 表	示(V) ヘルプ(H)				
# on a # or vi #	non-loc a the -	al interf: i or -h c	ace via the list ommand line swit	en_addresses ches.	s configuratio	n parameter,	
# TYPE # IPv4	DATABA Local c	SE USE	R CIDR-AD	DRESS	METHOD		
host	all	all		password			
Host # IP∨6 host ∎	local c all	onnection: all	s: ::1/128	password	md5		•
						73 行、58 列	11



Web サーバの IP アドレスを指定します。IP アドレスに続けて単一ホストを示す"/32"を入力します。

例

IP アドレスが 10.11.12.13 の場合は以下の値を入力します。

host all all 10.11.12.13/32 password

#### 5)メモ帳のメニューの[ファイル]-[上書き保存]を選択します。

6) デスクトップの pg hba.conf ファイルを以下のパスに上書きコピーします。

<インストールドライブ>:¥Program Files¥PostgreSQL¥8.2¥data¥

#### 13)■Windows Server 2003の場合

タスクバーの[スタート]-[マイコンピュータ]-右クリック-[管理]を選択します。

#### ■Windows Server 2008の場合

タスクバーの[スタート]-[すべてのプログラム]-[管理ツール]-[サービス]を選択します。

14) 画面左のコンピュータの管理のツリーから、"サービスとアプリケーション"ー"サービス"を選択し、PostgreSQL のサ ービスを再起動させます。

サービスの一覧から、PostgreSQL Database Server 8.2を選択し、ダブルクリックしてウインドウを開きます。

[[停止]ボタンをクリックしてサービスを停止させます。

データベースが停止したら、次に[開始]ボタンをクリックします。

[OK]ボタンをクリックしてウインドウを閉じます。

#### 15)作業が完了しました。

コンピュータの管理ウインドウを閉じます。

# 5.2.7 道路情報登録閲覧システムのインストール

http サービスとアプリケーションのインストールを行います。この作業は、Web サーバで OS の管理者権(Adminstrator 権限)を持ったユーザで実行する必要があります。

#### 1)「STEP2\_APP\_INSTALL¥installer¥Setup.exe」を実行し、「次へ」をクリックしてください。

セキュリティの警告ウインドウが表示された場合、「実行」ボタンをクリックしてください。

🌍 道路情報登録閲覧システム Verst	3.0.0 セットアップ
	道路情報登録閲覧システム Ver3.0.0 セットア ップ ウィザートへようこそ
	このウィザードは、道路情報登録閲覧システム Ver3.0.0 のインスト ールをガイドしていきます。
	セットアップを開始する前に、他のすべてのアプリケーションを終了 することを推奨します。これによってセットアップがコンピュータを再 起動せずに、システム ファイルを更新することが出来るようになりま す。
	続けるには [次へ] をクリックして下さい。
	() オペ(N)> キャンセル

#### 2)[次へ]ボタンをクリックしてください。

₩₩1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 10	_ 🗆 🗵
利用契約の確認	
道路情報登録閲覧システムのご利用コは、建築行政情報センターとの利用契約が必要です。 インストール前に、道路情報登録閲覧システムの利用契約書をご確認ください。	
Nullsoft Install System v2.38 く戻る(四) (次へ(い)) キャ	

#### 3)ライセンスキーを入力して、[次へ]ボタンをクリックしてください。

────────────────────────────────────	
<b>ライセンスキー入力</b> ライセンスキーを入力して下さい。	
ライセンスキーを入力しない、もしくは入力されたライセンスキーに誤りがある場合は、 指定道路情報に関する機能は利用できません。概要書閲覧機能のみご利用いただけ ます。	
Nullsoft Install System v2.38 〈戻る個 〉 次へ(N) 〉 キャ	,ンセル

 ・保守契約ライセンスをお持ちの場合は、ライセンスキーを正常に入力することで指定道路+概要書版をご利用 頂けます。ライセンスキーをお持ちでない場合は何も入力せずに[次へ]をクリックすることで、概要書のみ版をご利用 頂けます。

■ :一度概要書のみ版をインストールした後に指定道路+概要書版に変更したい場合は、再度「STEP2\_APP\_INST ALL¥installer¥Setup.exe」を実行することで、既存のデータはそのままの状態で指定道路+概要書版にアップグレードすることが可能です。



4) インストール先のドライブが、空き容量の多いドライブに設定されていることを確認し、[インストール]ボタンをクリックし てください。(アプリケーションと添付ファイル、地図データを保管できる容量が必要です。)

cドライブ以外にインストールする場合、ドライブ名の変更のみ可能です。(c:¥~i¥ まで変更可能です。)

インストールパスは、"ドライブ名"+"¥roadinfo"としてください。

例

dドライブにインストールする場合、"d:¥roadinfo¥"の指定が可能です。

ただし、d¥abc¥roadinfo¥ は、インストール後、正常に動作しないため指定しないでください。

(階層が増えているため不可)

₩ 道路情報登録閲覧システム Ver3.0.0 セットアップ	
インストール先を選んでください。 道路情報登録閲覧システム Ver3.0.0 をインストールするフォルダを選んでください。	
道路情報登録閲覧システム Ver300 を以下のフォルダにインストールします。異なったフォルダに トールするには、「参照]を押して、別のフォルダを選択してください。 インストールを始めるには [イ] ール]をクリックして下さい。	
-インストール先 フォルダー S¥roadinfo 参照(R)	
必要なディスクスペース: 214.4MB 利用可能なディスクスペース: 12.3GB	
Nullsoft Install System v2.88 く戻る(B) 【インストール】 キャ	ンセル

#### 5) インストールが開始されます

₩ 道路情報登録閲覧システム Ver3.0.0 セットアップ	
<b>インストール</b> 道路情報登録閲覧システム Ver3.0.0 をインストールしています。しばらくお待ちください。	
抽出:el.xml 100%	
抽出:de_CHxmL100% 抽出:de_DExmL100% 抽出:de_LIxmL100% 抽出:de_LUxmL100% 抽出:dv.xmL100% 抽出:dz.mL100% 抽出:dz.mL100% 抽出:dz.mL100% 抽出:ee_GHxmL100% 抽出:ee_GHxmL100%	×
Nullsoft Install System v2.88 (戻る(B) 次へ(M) > 牛+	,)tzn

#### 6)以下の画面が表示された場合、[はい]ボタンをクリックしてください。



7)「道路情報登録閲覧システムを実行」にチェックがされていることを確認し、[完了]ボタンをクリックしてください。



Apache MS4W Web Server サービスのインストールが開始されます。

### 5.2.8 環境設定

1) ブラウザを起動し、「http://localhost/admin/install.php」にアクセスしてください。

以下に示すページが表示されます。文字が化けて表示される場合、ブラウザの設定で文字コードをUTF-8 に変更しま す。このページで2)で説明する設定を行います。



#### 2) 1)の画面の各項目を設定してください。

設定した内容に従いシステムで利用するためのデータを含んだデータベースが生成されます。

表 設定項目一覧

項目名	設定内容
	DB のインストールを行ったサーバ名
DBServer のホスト名	Web サーバとDB サーバを1台で共用する場合、"localhost"と設定する。 Web サーバとDB サーバが異なるサーバの場合、DB サーバのIP アドレス
	を入力。
DB への接続ユ <del>ーザ</del> 名	接続ユーザ名を設定(DB のスーパーユーザ名は不可)する。
	roadinfo と入力する。
DBへの接続パスワード	接続ユーザのパスワードを設定する。
	roadinfo と入力する。
DB 名称	DB 名を設定(英大文字の使用は不可)する。
	roadinfo と入力する。
DB 管理考名	DB のスーパーユーザ名を設定する。
	postgres と入力する。
DB 管理考パスワード	DB のスーパーユーザのパスワードを設定する。
	Kenchiku1 と入力する。
	座標系の SRID を設定(例:東京都の場合 2451 を設定)
	・・・ 予後述の SRID 対応表を参照
	GIS 機能の有無を設定
	・指定道路調書データのみ整備しており、システムも調書のみで運用する
	ケースでは無しを選択する。
GIS 機能付	・データ交換仕様書に準拠した指定道路図データの整備を行っていないケ ースは、無しを選択する。
	※ :システムのインストール作業が完了し、GIS 無しでの運用(指定道路調
	書のみ運用)を行っている場合でも、指定道路図データ整備後に設定で
	GIS 有りの運用に切り替えることが可能です。



#### 表 SRID 対応表

<b>T W D</b>		SRID/	座標系原点の経緯度			
糸番	污	epsg	経度(東経)	緯度(北緯)	適用区域	
I	1	2443	129度30分0秒0000	33度0分0秒0000	長崎県 鹿児島県のうち北方北緯32度南方北緯27度西方東経128 度18分東方東経130度を境界線とする区域内(奄美群島は東経130 度13分までを含む。)にあるすべての島、小島、環礁及び岩礁	
П	2	2444	131度0分0秒0000	33度0分0秒0000	福岡県 佐賀県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県(第系に規定 する区域を除く。)	
ш	3	2445	132度10分0秒0000	36度0分0秒0000	山口県島根県広島県	
N	4	2446	133度30分0秒0000	33度0分0秒0000	香川県 愛媛県 徳島県 高知県	
v	5	2447	134度20分0秒0000	36度0分0秒0000	兵庫県 鳥取県 岡山県	
VI	6	2448	136度0分0秒0000	36度0分0秒0000	京都府 大阪府 福井県 滋賀県 三重県 奈良県 和歌山県	
VI	7	2449	137度10分0秒0000	36度0分0秒0000	石川県 富山県 岐阜県 愛知県	
VIII	8	2450	138度30分0秒0000	36度0分0秒0000	新潟県 長野県 山梨県 静岡県	
IX	9	2451	139度50分0秒0000	36度0分0秒0000	東京都(XIV系、XVII系及びXIX系に規定する区域を除く。)福島県 栃木県 茨城県 埼玉県 千葉県 群馬県 神奈川県	
x	10	2452	140度50分0秒0000	40度0分0秒0000	青森県 秋田県 山形県 岩手県 宮城県	
х	11	2453	140度15分0秒0000	44度0分0秒0000	小樽市 函館市 伊達市 胆振支庁管内のうち有珠郡及び虻田郡 檜山支庁管内 後志支庁管内 渡島支庁管内	
XII	12	2454	142度15分0秒0000	44度0分0秒0000	札幌市 旭川市 稚内市 留萌市 美唄市 夕張市 岩見沢市 苫小 牧市 室蘭市 士別市 名寄市 芦別市 赤平市 三笠市 滝川市 砂川市 江別市 千歳市 歌志内市 深川市 紋別市 富良野市 登 別市 恵庭市 北広島市 石狩市 石狩支庁管内 網走支庁管内の うち紋別郡 上川支庁管内 宗谷支庁管内 日高支庁管内 胆振支 庁管内(有珠郡及び虻田郡を除く。) 空知支庁管内 留萌支庁管内	
ХШ	13	2455	144度15分0秒0000	44度0分0秒0000	北見市 帯広市 釧路市 網走市 根室市 根室支庁管内 釧路支 庁管内 網走支庁管内(紋別郡を除く。) 十勝支庁管内	
XIV	14	2456	142度0分0秒0000	26度0分0秒0000	東京都のうち北緯28度から南であり、かつ東経140度30分から東 であり東経143度から西である区域	
XV	15	2457	127度30分0秒0000	26度0分0秒0000	沖縄県のうち東経126度から東であり、かつ東経130度から西である区域	
XVI	16	2458	124度0分0秒0000	26度0分0秒0000	沖縄県のうち東経 126 度から西である区域	



系番号		SRID/	座標系原点の経緯度		
		epsg	経度(東経)	緯度(北緯)	適用区域
XVII	17	2459	131度0分0秒0000	26度0分0秒0000	沖縄県のうち東経130度から東である区域
XVIII	18	2460	136度0分0秒0000	20度0分0秒0000	東京都のうち北緯28度から南であり、かつ東経140度30分から西
					である区域
XIX	19	2461	154度0分0秒0000	26度0分0秒0000	東京都のうち北緯28度から南であり、かつ東経143度から東であ
					る区域

※ 引用先:国土交通省告示第九号(http://www.gsi.go.jp/LAW/heimencho.html)

- 3) 1)の画面の[実行]ボタンをクリックします。
- 4) 以下の画面が表示されるので、よろしければ[OK]ボタンをクリックします。



5) インストール処理が完了すると、画面上部に赤文字で以下の完了メッセージが表示されます。



# 5.2.9 Zend Optimizer のインストール

プログラムの最適化ツールのインストールを行います。この作業はWebサーバでOSの管理者(Administrator)権限を持ったユーザで実行する必要があります。

- 1)「STEP3\_Optimizer¥ZendOptimizer-3.3.0a-Windows-i386.exe」をダブルクリックし、実行します。 セキュリティの警告ウインドウが表示された場合、[実行]ボタンをクリックしてください。
- 2) 以下の画面が表示されたら、[Next>]ボタンをクリックしてください。

Zend Optimizer – InstallShield	Wizard	×
Zend Optimizer – InstallShield	Wizard Telcome to the InstallShield Wizard for Zend Optimizer - 3.3.0 The InstallShieldR Wizard will install Zend Optimizer - 3.3.0 on your computer. To continue, click Next.	×
InstallShield	< <u>B</u> ack Next > Cance I	

3) I accept...をチェックし、[Next>]ボタンをクリックしてください。

Zend Optimizer – InstallShield Wizard		
ZendOpti∎izer-3.3.0 Lio	cense Agreement	
	ZEND LICENSE AGREEMENT Zend Optimizer ZEND TECHNOLOGIES LTD. ("ZEND") SOFTWARE LICENSE AGREEMENT ("AGREEMENT") IMPORTANT: READ THESE TERMS CAREFULLY BEFORE INSTALLING THE SOFTWARE KNOWN AS THE "ZEND OPTIMIZER," AS INSTALLED BY THIS INSTALLATION PROCESS, IN MACHINE-EXECUTABLE FORM ONLY, AND ANY RELATED DOCUMENTATION (COLLECTIVELY, THE "SOFTWARE") BY INSTALLING, OR OTHERWISE USING THIS SOFTWARE, YOU (THE "LICENSEE") ACKNOWLEDGE THAT YOU HAVE READ THIS AGREEMENT, AND THAT YOU AGREE TO BE BOUND BY ITS TERMS AND CONDITIONS. IF YOU DO NOT AGREE TO ALL OF THE TERMS AND CONDITIONS OF THIS AGREEMENT, YOU ARE NOT AN AUTHORIZED USER OF THE SOFTWARE AND LITIS YOUR RESPONSIBILITY TO EXIT THIS INSTALLATION PROGRAM WITHOUT INSTALLING THE SOFTWARE, OR TO DELETE THE SOFTWARE FROM YOUR COMPUTER. I accept the terms of the license agreement I do not accept the terms of the license agreement	
InstallShield	< <u>B</u> ack <u>N</u> ext > Cance	

4) ZendOptimizer のインストール場所を指定します。インストール先は、デフォルトのままとします。[Next>]ボタンをク リックしてください。

Zend Optimizer – InstallShiel	d Wizard	×
Choose Destination Fold	er	
	Please choose destination folder for ZendOptimizer-3.3.0	
	Destination Folder	٦
	C:¥Program Files¥Zend¥Zend0ptimizer-3.8.0 B <u>r</u> owse	J
InstallShield	< Back Next > Cance I	

5) Apache2xを指定します。[Next>]ボタンをクリックしてください。

Zend Optimizer – InstallShiel	d Wizard			X
Choosing Teb server				
	Please select on which Web s	erver ZendOpt	imizer-3.3.0 should be installed	
	🔵 IIS (Install detected: Mi	crosoft Intern	net Information Services 6.0)	
	O Apache 1.x			
	Apache 2.x			
	🔘 Other Web server			
InstallShield	< <u>B</u> ack	Next >	Cancel	

6) php.iniの場所として[Browse…]ボタンをクリックして「c:¥roadinfo¥ms4w¥Apache¥cgi-bin」を指定します。
 (cドライブ以外のドライブにインストールした場合は、以降c;¥をインストールドライブに読み替えて作業をしてください。)

Zend Optimizer – InstallShi	eld Wizard
Choose the php.ini for	uer
	Please choose the folder in which your php.ini is located
	Destination Folder C:¥roadinfo¥ms4w¥Apache¥cgi-bin B <u>rowse</u>
InstallShield	< Back [Next >] Cancel

7) Web サーバのルートとして[Browse…]ボタンをクリックして「c:¥roadinfo¥ms4w¥Apache」を指定します。

Zend Optimizer – InstallSh Choose the ¥eb server	ield Wizard 's root folder	×
	Please choose the root folder of your Web server	
	Destination Folder	
	C:¥roadinfo¥ms4w¥Apache	Browse
InstallShield		Cancel

[Next>]ボタンをクリックします。

8)以下の画面が表示されたら[Install]ボタンをクリックします。

Zend Optimizer – InstallShie	ld Wizard	×
Pre-Install Summary		
	Please verify that the following information gathered by Install is correct: Installing ZendOptimizer-3.3.0 to: C:¥Program Files¥ZendVZendOptimizer-3.3.0 Web server details: Server name: Apache2 Server root: C:¥roadinfo¥ms4w¥Apache	
InstallShield	< Back Install Cancel	

9)以下のウインドウが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。

Web Serve	er Restart	Х
?	The web server will not be available until the installation process has been completed. Do you agree? You must shut down all other running web servers before continuing. Please shut them down first, then click Y	′es.

10)以下のウインドウが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。



11)ファイルのインストールが開始されます。

12)以下のウインドウが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。

Zend Opt	imizer – InstallShield Wizard 🛛 🔀
1	Your Apache Web Server is not installed as Windows service. You should start it manually. NOTE: You must start Apache manually before pressing the OK button!
	OK

13)以下の画面が表示されれば、インストールは完了です。[Finish]ボタンをクリックして終了します。

Zend Optimizer – InstallShield Wizard			
	InstallShield Vizard Com	plete	
	Setup has finished installin	g ZendOptimize	r-3.3.0 on your computer.
	VIEW Readme Now		
InstallShield	< <u>B</u> ack	Finish	Cancel

14) "View Readme Now" にチェックをしていた場合、Readme ファイルが表示されます。参照後、Readme ファイルを閉じて ください。

# 5.2.10 サーバの再起動

サーバを再起動します。この作業は Web サーバで OS の管理者 (Administrator)権限を持ったユーザで実行する必要があります。再起動しないと、パス等の設定が正しく反映されない可能性があるため、必ず行ってください。

# 5.2.11 インストール状態の確認

1)インストール状態の確認をします。

以下の URLをサーバの Web ブラウザのアドレス欄に http://localhost/ と入力します。



以下のウインドウが表示された場合、(a)、(b)の操作を行ないます。

表示されなかった場合、以降の2)の手順に進んでください。

(a)このウインドウの[追加]ボタンを押します。

Internet	Explorer	×
•	下に表示されている Web サイトのコンテンツは、Internet Explorer セキュリティ強化の構成によってブロックされていま 閉じる( <u>C</u> ) す。	I
	about:internet	
	☑ Web サイトのコンテンツがブロックされる時は、このメッセージを表示する(Q)	
<u>Internet</u>	Explorer セキュリティ強化の構成の詳細を表示します。	
この Wet すると、() トがロー? ル イント	o サイトを信頼している場合、信頼済みサイトのゾーンに追加 低いレベルのセキュリティでサイトを実行できます。この Web サイ カル イントラネットにある場合、ヘルブの説明を参照して、ローカ ラネットのゾーンにサイトを追加してください。	
重要: こ ンテンツ( のアプリク	D Web サイトを信頼済みサイトのゾーンに追加すると、この Web サイトのすべてのコ ま低いレベルのセキュリティで実行されます。これは Internet Explorer などのすべて rーションに影響します。	

#### 道路情報登録閲覧システム(庁内版)Ver3.0 一環境構築マニュアル—

(b)信頼済みサイトのウインドウで[このゾーンのサイトにはすべてのサーバーの確認(https:)を必要とする]にチェックが

入っている場合は、チェックをはずします。[追加]ボタンを押し、信頼済みサイトへ登録します。

信頼済みサイト ? 🗙
このゾーンに Web サイトを追加/削除できます。このゾーンのすべての Web サイトには、このゾーンのセキュリティの設定が適用されます。
次の Web サイトをゾーン(ご追加する(D):
Web サイト( <u>W</u> ):
▲ 前邸余(兄)
the first of the second con-
問!".J.(C)

2)以下のページが表示されたことを確認してください。システムのインストールは完了です。

鏲 遊路情報登録閲覧システム - Microsoft Internet Explorer	
ファイル(E) 編集(E) 表示(E) お気に入り(A) ツール(E) ヘルブ(E)	1
G #6 · C) · 📓 🗟 🏠 🔎 ## 🖕 8%LC29 🚱	
PFLZD a	💌 🄁 1546
10月11 通路情報登録閲覧システム	[ヘルプ]
ユーザIDおよびパスワードを入力し、ログインボタンを押して	Fall.
2-70	
K29-F	
ログイン キャンセル	

■ :システムとして利用するには、後述する地図データ、指定道路調書等のデータ登録作業を完了させる必要があり ます。

Windows Server 2008 でこの画面が表示されないときは、「ファイアウォールの設定」を確認してください。

# 6 管理者パスワードの変更

この作業は Web サーバにhttpでアクセスできる環境で実行する必要があります。特別な管理者ユーザとして、ユーザ 名"admin"が登録されています。デフォルトのパスワードは、ユーザ名と同じ"admin"になっているため、セキュリティの 観点から変更する必要があります。変更には、管理ツールを使用しますので、詳細は管理ツール操作マニュアルを参 照してください。

#### 1)管理ツールを起動し、管理者(admin)ユーザでログインします。

admin ユーザのデフォルトの設定は、以下の通りです。

#### 表 admin ユーザ情報

項番	項目	值
1	ユーザ名	admin
2	パスワード	admin

▶️ : 管理ツール操作マニュアル 【道路情報登録閲覧システム(管理機能)の起動】の項を参照してください。

#### 2)管理者(admin)ユーザのパスワードを変更します。

デフォルトのパスワード"admin"を任意のパスワードに変更してください。変更後のパスワードは忘れないようにしてください。

ご管理ツール操作マニュアル【ユーザ管理】-「既存ユーザの登録内容を変更する」の項を参照してください。

# 7 地図データ登録作業

ここではシステムを利用するための必要とする地図データ登録作業について説明します。この作業はWebサーバで OSの管理者(Administrator)権限を持ったユーザで実行する必要があります。

# 7.1.1 登録データー覧

分類	データ	概要説明
背景図	・地理的範囲定義ファイル(extent.csv)	GIS 画面に表示する背景図データ。
	・地図データリスト定義ファイル(layerlist.csv)	Shape ファイルの他に、各種 CSV ファイ
	・地図データファイル(*.shp、*.shx、*.dbf、mesh,csv)	ル、シンホルイメーシファイルも必要となる。
	・シンボルイメージファイル(*.gif)	
背景図(画像)	・画像管理ファイル(kanri.csv)	GIS 画面に表示する背景図(画像)デー
	<ul> <li>・画像ファイル(*.pnf)</li> </ul>	タ。管理用のファイルと画像ファイルと
	・ワールドファイル(*.pwg)	ワールドファイルか対である必要かある。
位置検索·索	・位置検索データ(住所) (domain.csv, city.csv , major.csv )	GIS にて利用する位置検索データ。地
引図データ	・位置検索データ(目標物)(landmarkcode.csv, landmark.csv )	番検索機能にて利用する筆界データ、
	・地番検索データ(筆界) (pol_chiban.shp,shx,dbf)	索引凶の Shape ファイル。
	・地番検索データ(地番) (txt_chiban.shp,shx,dbf )	
	·索引図データファイル(*.shp、*.shx、*.dbf)	
指定道路図	・指定道路図データ(*.shp、*.shx、*.dbf)	他GIS等で作成した、指定道路図、指定
	・付帯情報データ(*.shp、*.shx、*.dbf)	道路の付帯情報
概要書	・概要書位置データ(*.shp、*.shx、*.dbf)	概要書の位置を示す図形データ(Shape
		ファイル)。

表 登録データー覧

■ :システムをGIS 無しの状態で、指定道路調書データのみで運用される場合は、これらのデータを登録する必要はありません。

・指定道路調書データのみで運用される場合は、本マニュアルの【8 指定道路調書データの登録作業】へ進んでください。

### 7.1.2 地図データ登録手順

地図データを登録するには、環境構築における初期データ登録および大量のデータを登録するためのバッチ処理と GUI 操作によるシステムの管理ツールを利用する2つの方法があります。バッチ処理の実行方法は、本マニュアルに記載してい ます。管理ツールにより作業をする場合、管理ツールマニュアルを参照してデータ登録作業を行ってください。

(1)処理の完了確認方法について

バッチ処理ないし管理ツールでの登録が正常に完了したかどうか、管理ツールのログ参照機能で確認できます。

Windows Server 2008 の場合、バッチ処理完了後に以下のダイアログが表示されます。表示されたときはダイアログの [プログラムを終了します]を選択して閉じてください。

🂐 Micr	osoft Windows	_ 🗆 X
php	CLI は動作を停止しました	
	問題の解決策をオンラインで確認できます。	
	→ オンラインで解決策を確認してブログラムを終了します	
	→ プログラムを終了します	
	- 題の詳細の表示	

(2)エラー対象方法について

エラーメッセージが管理ツールに表示されている場合、本マニュアルの添付資料「2. データインポート、データエクスポートで出力されるエラーメッセージ」の項を参照し、エラーメッセージに対する対処方法を参考に再登録作業を行なってください。

#### 1) 背景図データの登録

背景図データには、座標値をもったベクタデータ形式(以降、単に「背景図データ」という)と画像のラスタデータ(画像の場合は、以降「背景図(画像)データ」という)があり、これらの2種類のデータをシステムに登録することが可能です。

a)背景図データの登録

背景図データをインポートします。以下のコマンドをWebサーバのコマンドラインから実行する事により背景図のインポートが行えます。登録が完了したかどうかは、管理ツールのログ参照機能で確認できます。

import 引数1 引数2 引数3

っ コマンドと引数の意味

コマンド	意味	詳細
import	コマンドの名称	当コマンドは、C.¥roadinfo にシステムをインストールした場 合、「C:¥roadinfo¥application¥bat」に格納してあります。実行時 は、コマンド格納フォルダへ移動して実行して下さい。
引数1	実行する機能名	背景図データインポートでは、「DJ610S0002」を固定で指定し ます。
引数2	ユーザID	操作ユーザIDを指定します。ログ閲覧時等に情報として表示 されます。
引数3	背景図データ格納フォル ダ名	取込対象となる背景図を格納したフォルダ名をフルパスで指 定します。

• 引数3に指定するフォルダ名について

引数3へ指定するフォルダ名は、「道路情報登録閲覧システムデータ交換仕様」に沿った形のフォルダ構成のデータを用意し、「shiteizu」フォルダの直前までのフォルダ名を指定します。

HDD 上のデータをインポートする場合、shiteizu フォルダの上位にインポート作業向けのフォルダ(フォルダ名は
 任意)を必ず作成してください。CD からインポートする場合は不要です。



引数3へ指定するフォルダ名の例 : "C:¥AAA¥BBB"



• 背景図インポート形式について

背景図のインポートでは、既に登録済みの背景図データを削除して、登録を行います。

#### b)背景図(画像)データの登録・削除

・ 背景図(画像)インポートバッチ

用意した背景図画像のフォルダを指定してバッチ処理を行います。フォルダ構成が不正の場合や画像ファイ ルとワールドファイルが一対でない場合はエラーとなります。また、既にデータが存在する(画像レイヤ名称が 同一)の場合もエラーとなります。尚、一回のバッチでインポートできる背景画像データのレイヤは1つのみで す。

背景図(画像)データをインポートします。以下のコマンドをWebサーバのコマンドラインから実行する事により背景図(画像)のインポートが行えます。登録が完了したかどうかは、管理ツールのログ参照機能で確認できます。

import 引数1 引数2 引数3 引数4

コマンド	意味	詳細
import	コマンドの名称	当コマンドは、C:¥roadinfo にシステムをインストールした場
		合、「C:¥roadinfo¥application¥bat」に格納してあります。実行時
		は、コマンド格納フォルダへ移動して実行して下さい。
引数1	実行する機能名	背景図データインポートでは、「DJ610S0011」を固定で指定し
		ます。
引数2	ユーザD	操作ユーザIDを指定します。ログ閲覧時等に情報として表示
		されます。
引数3	背景図(画像)データ格納	取込対象となる背景図(画像)を格納したレイヤ No フォルダ
	フォルダ名	のフォルダ名をフルパスで指定します。
引数4	ワールドファイルチェック	0のとき、ワールドファイルの書式をチェックしない
	フラグ	1のとき、ワールドファイルの書式をチェックする。

#### • コマンドと引数の意味

• 引数3に指定するフォルダ名について

引数3~指定するフォルダ名は、「道路情報登録閲覧システムデータ交換仕様」に沿った形のフォルダ構成のデータを用意し、「レイヤNo」フォルダまでのフォルダ名を指定します。このフォルダに含まれる kanri.csv の設定でのみ地図表示したときの背景(画像)の初期表示状態を表示にするか、非表示にする か設定することができます。(管理ツールの GUI からは変更できません。)

■ HDD 上のデータをインポートする場合、shiteizu フォルダの上位にインポート作業向けのフォルダ(フォルダ名は 任意)を必ず作成してください。CD からインポートする場合は不要です。



引数3へ指定するフォルダ名 : "C:¥AAA¥shiteizu¥haikei\_image¥1"



例)

コマンドプロンプト
D:¥>c:
C:¥Documents and Settings¥Administrator>cd ¥roadinfo¥application¥bat
C:¥roadinfo¥application¥bat>import DJ610S0011 admin "C:¥AAA¥shiteizu¥haikei_image¥1" 0 バッチ処理開始 バッチ処理開始
C:¥roadinfo¥application¥bat>

以下のフォルダに背景図(画像)情報がインポートされます。

インポート先フォルダ roadinfo¥application¥public¥mapfunction¥mapData¥haikei\_image

🖗 :インポート先フォルダの"roadinfo"は、アプリケーションインストール時に指定したフォルダです。

背景図(画像)削除バッチ

背景図(画像)の表示レイヤ情報の変更をするには、データを削除して再登録する必要があります。削除方法 は、削除したい背景図(画像)のレイヤ名称を指定してバッチ処理を実行します。指定した画像のレイヤ名称が 存在しない場合はエラーなります。第3引数にフォルダ名の替わりに delete と指定します。"(ダブルクォーテー ション)は不要です。

※ここでいうレイヤ名称とは、背景画像データのレイヤ No フォルダ配下の kanri.csv の 1 行目の制御情報(レイヤ名称)です。

削除バッチ実行方法

X:

cd x::¥roadinfo¥application¥bat

import DJ610S0011 admin delete "[レイヤ名称]"

X はインストール時に指定したドライブ名

[レイヤ名称]には削除したいレイヤ名称を入力してください。

例)	コマンドプロンプト
	D:¥>c:
	C:¥Documents and Settings¥Administrator>cd ¥roadinfo¥application¥bat
	C:¥roadinfo¥application¥bat>import DJ610S0011 admin delete "背景図画像1"
	バッチ処理開始
	バッチ処理開始
	C:¥roadinfo¥application¥bat>

・削除バッチは、システムから登録情報を削除するための論理削除となります。物理削除の方法については、
 運用マニュアルの「3.1.2 ハードディスク容量の管理」を参照してください。

2) 位置検索データ(住所)の登録

この作業は、必須ではありません。作成済みのデータがあり、それをサーバに登録する場合に実施します。

■ 2:管理ツール操作マニュアル【データインポート】-「住所情報を取込む」の項を参照してください。

■ :本システムの庁外版を運用するためには、必要なデータとなります。

3) 位置検索データ(目標物)の登録

この作業は、必須ではありません。作成済みのデータがあり、それをサーバに登録する場合に実施します。

▶ 管理ソール操作マニュアル【データインポート】-「目標物情報を取込む」の項を参照してください。

#### 4) 地番検索データ(筆界)の登録

この作業は、必須ではありません。作成済みのデータがあり、それをサーバに登録する場合に実施します。 ・管理ツール操作マニュアル【データインポート】-「背景図を取り込む」の項を参照してください。

格納先レイヤ指定で、"筆界"を選択し、データを登録します。

#### 5) 地番検索データ(地番)の登録

この作業は、必須ではありません。作成済みのデータがあり、それをサーバに登録する場合に実施します。 ご管理ツール操作マニュアル【データインポート】-「背景図を取り込む」の項を参照してください。

格納先レイヤ指定で、"地番"を選択し、データを登録します。

#### 6) 索引図データの登録

この作業は、必須ではありません。作成済みのデータがあり、それをサーバに登録する場合に実施します。

ご管理ツール操作マニュアル【データインポート】-「索引図を取り込む」の項を参照してください。
格納先レイヤ指定で、"索引図"を選択し、データを登録します。

#### 7) 指定道路図の登録

以下のコマンドをWebサーバのコマンドラインから実行する事により指定道路図のインポートが行えます。

import 引数1 引数2 引数3 引数4 引数5

コマンドと引数の意味

コマンド	意味	詳細
import	コマンドの名称	当コマンドは、システムを c:¥roadinfo にインストールした場 合、「C:¥roadinfo¥application¥bat」に格納してあります。実行時 は、コマンド格納フォルダへ移動して実行して下さい。
引数1	実行する機能名	指定道路図データインポートでは、「DJ610S0003」を固定で指 定します。
引数2	ユーザD	操作ユーザIDを指定します。ログ閲覧時等に情報として表示 されます。
引数3	背景図データ格納フォル ダ名	取込対象となる背景図を格納したフォルダ名をフルパスで指 定します。
引数4	未使用	当引数は使用しません。"0"固定で指定してください。
引数5	自動リンク	自動リンクの指定を行います。 0 : 自動リンクを行わない 1 : 自動リンクを行う

• 引数3に指定するフォルダ名について

引数3へ指定するフォルダ名は、「道路情報登録閲覧システムデータ交換仕様」に沿った形のフォルダ構成のデータを用意し、「shitei」フォルダまで指定します。

 HDD 上のデータをインポートする場合、shiteizu フォルダの上位にインポート作業向けのフォルダ(フォルダ名は 任意)を必ず作成してください。CD からインポートする場合は不要です。



#### 道路情報登録閲覧システム(庁内版)Ver3.0 ―環境構築マニュアル―

例)

引数3へ指定するフォルダ名 : "C:¥AAA¥BBB¥shiteizu¥shitei"

#### コマンドプロンプト

D:¥>c:

C:¥Documents and Settings¥Administrator>cd ¥roadinfo¥application¥bat

C:\froadinfo\froation

バッチ処理開始

バッチ処理開始

C:\froadinfo\froation

• 指定道路図インポート形式について

指定道路図のインポートでは、既に登録済みの指定道路図データへ追加する形でインポートします。

なお、インポートした道路図は、管理ツールを利用して、追加ないし置き換えることもできます。

▶ 管理ツール操作マニュアル【データインポート】-「道路図を取込む」の項を参照してください。 個々の指定道路を選択し、データを登録します。

#### 8) 背景図、指定道路図等のレイヤ情報を変更する。

背景図、指定道路図等のレイヤ情報は、インポートした時点では、予めデフォルト値として設定されている色、線 種で表示されるようレイヤ設定されています。これらのレイヤ設定は、管理ツールを利用して、変更することができま す。

▶ : 管理ツール操作マニュアル 【レイヤ管理】-「レイヤを編集する」の項を参照してください。

#### 9) 概要書図形情報の登録

以下のコマンドをWebサーバのコマンドラインから実行する事により概要書図形情報のインポートが行えます。

import 引数1 引数2 引数3 引数4 引数5

#### • コマンドと引数の意味

コマンド	意味	詳細
import	コマンドの名称	当コマンドは、システムを c:¥roadinfo にインストールした場 合、「C:¥roadinfo¥application¥bat」に格納してあります。実行時 は、コマンド格納フォルダへ移動して実行して下さい。
引数1	実行する機能名	概要書図形情報インポートでは、「DJ610S0013」を固定で指 定します。
引数2	ユーザD	操作ユーザ ID を指定します。ログ閲覧時等に情報として表示 されます。
引数3	概要書図形情報格納フォ ルダ名	取込対象となる概要書図形情報を格納したフォルダ名をフル パスで指定します。
引数4	自動リンク	自動リンクの指定を行います。 0 : 自動リンクを行わない 1 : 自動リンクを行う
引数5	既存概要書図形情報削 除	既存概要書図形情報を削除するかどうかを指定します。 0 : 削除しない 1 : 削除する

• 引数3に指定するフォルダ名について

引数3へ指定するフォルダ名は、「道路情報登録閲覧システムデータ交換仕様」に沿った形のフォルダ構成のデータを用意し、「gaiyou」フォルダまで指定します。

HDD 上のデータをインポートする場合、kenchiku フォルダの上位にインポート作業向けのフォルダ(フォルダ名は
 任意)を必ず作成してください。CD からインポートする場合は不要です。





引数3へ指定するフォルダ名 : "C:¥AAA¥BBB¥kenchiku¥gaiyou"



# 8 指定道路の調書データの登録作業

ここでは指定道路調書データの登録作業について説明します。この作業は Web サーバで OS の管理者 (Administrator)権限を持ったユーザで実行する必要があります。

# 8.1 管理ツールを使用した指定道路調書データの登録作業

本システムで扱うことのできる指定道路調書データの仕様を以下に示します。

分類	データ	概要説明
指定道路調書	・道路管理様式 Ver2.0 エクスポートデータ	・道路管理様式Ver2.0よりエクスポートした指定道路調書データ
		・データ交換仕様書の調書の仕様に準拠したデータ

### 表 指定道路調書データ

#### 1)指定道路調書データの登録をする。

▶ : 管理ツール操作マニュアル 【データインポート】-「道路情報を取込む」の項を参照してください。

# 8.2 指定道路調書データと指定道路図データの関連付け作業

ここではシステムにインポート済みの指定道路調書データと指定道路図データの関連付け作業をについて説明しま す。システムの管理ツールを利用して、指定道路対照番号と道路の種別をキーとして関連付けを行うこの機能は、自 動リンク機能と呼びます。

# 8.2.1 自動リンク機能について

1) 自動リンク機能を使用する。

▶ : 管理ツール操作マニュアル 【データインポート】-「自動リンクを行う」の項を参照してください。

# 9 概要書情報の登録

ここでは概要書情報の地図データ登録作業について説明します。この作業は Web サーバで OS の管理者 (Administrator)権限を持ったユーザで実行する必要があります。

# 9.1.1 登録データー覧

# 表 登録データー覧

分類	データ	概要説明
概要書	・概要書データ(*.xml) ・概要書添付ファイルデータ(*)	台帳システムから出力された ZP 形式 の概要書データです。ファイルサイズ は500MB 以下にする必要がありま す。
		概要書1件につき、概要書データ (*xml)のファイルサイズは 20KB までと してください。

### 9.1.2 概要書情報の登録手順

以下のコマンドをWebサーバのコマンドラインから実行する事により台帳情報登録閲覧システムから出力された概要書情報のインポートが行えます。

import 引数1 引数2 引数3 引数4 引数5

• コマンドと引数の意味

コマンド	意味	詳細
import	コマンドの名称	当コマンドは、システムを c:¥roadinfo にインストールした場 合、「C:¥roadinfo¥application¥bat」に格納してあります。実行時 は、コマンド格納フォルダへ移動して実行して下さい。
引数1	実行する機能名	概要書情報データインポートでは、「DJ610S0012」を固定で指 定します。
引数2	ューザD	操作ユーザIDを指定します。ログ閲覧時等に情報として表示 されます。
引数3	概要書データ格納フォル ダ名	取込対象となる概要書情報(台帳・帳簿登録閲覧システムか らダウンロードしたファイル)を格納した zip ファイルを配置し



		たフォルダのパスを指定します。
		例 d¥temp¥chosho
引数4	自動リンク	自動リンクの指定を行います。 0 : 自動リンクを行わない 1 : 自動リンクを行う
引数5	既存概要書情報削除	既存概要書情報を削除するかどうかを指定します。 0 : 削除しない 1 : 削除する

• 引数3に指定するフォルダ名について

引数3へ指定するフォルダ名は、「道路情報登録閲覧システムデータ交換仕様」に沿った形のフォルダ構成のデータを用意し、zipファイルが配置されているフォルダまで指定します。

■ HDD 上のデータをインポートする場合、zip ファイル配置フォルダの上位にインポート作業向けのフォルダ(フォル ダ名は任意)を必ず作成してください。CD からインポートする場合は不要です。



例)



## 9.1.3 概要書情報の登録処理の自動化

バッチ処理による概要書情報の登録について、定期的にバッチ処理を実行した場合には、タスク機能によりバッチ処理の 実行をスケジューリングすることができます。

#### ■Windows Server 2003の場合

#### (1)パッチのタスク登録手順

以下の手順により、バッチのタスク登録を行うことができます。

1) [コントロールパネル]→[タスク]→[スケジュールされたタスクの追加]をクリックします。



⇒タスクウィザードが表示されます。

2) [次へ]をクリックします。



3) 参照をクリックしてタスクに登録したしい、ッチ(Importbat)選択し、「次へ」をクリックします。

<u> </u>			×
	実行するプログラムを1 つ選択してくた さらに別のプログラムを表示するには、	ぎさい(C) [参照]をクリックしてください。	
J N	アプリケーション	バージョン	
×	Adobe Reader 8 Apply Frontend Patch	5.05.010	
	Neonmap 群 Blancco-PinInstall の DVD とビデオ 発音ditres	4, 1, 0, 0 3.30.65e	-
	) 172 serves	参照(B)	
	< <b>戻る(B)</b> 次	<li>(N)&gt; キャンセル</li>	,

実行するプログラムを	選択してください					? ×
ファイルの場所型:	🗁 bat		•	G 🦻	ا بھ	
最近使ったファイル ビン デスクトップ シント マイ ドキュメント マイ コンピュータ マイ ネットワーク	<ul> <li>entity</li> <li>D J610S0002.ini</li> <li>D J610S0002Import.php</li> <li>D J610S0003Import.php</li> <li>D J610S0004.ini</li> <li>D J610S0004Import.php</li> <li>D J610S0005Import.php</li> <li>D J610S0005Import.php</li> <li>D J610S0006Import.php</li> <li>D J610S0007.ini</li> <li>D J610S0007Import.php</li> <li>D J610S0008Import.php</li> <li>D J610S0009Import.php</li> <li>D J610S0009Import.php</li> <li>D J610S0009Import.php</li> <li>D J610S0009Import.php</li> </ul>	DJ610S0010Import.php     DJ610S0011Import.php     DJ610S0011Import.php     DJ610S0012.ini     DJ610S0012Import.php     DJ610S0013Import.php     DJ610S0014Import.php     DJ610S0014Import.php     export.bat     export.bat     import.bat     import.bat     import.php     ImportBase.php     xml.php				
	ファイル名(N): import ファイルの種類(I): プログラ	.bat ラム			•	開( <u>(0</u> ) キャンセル

Import. bat は、<システムインストールドライブ>:¥roadinfo¥application¥bat フォルダにあります。

4) タスク名称と実行スケジュールを入力し、[次へ]をクリックします。

ቃ <b>ス</b> ク ウィザード		×
	このタスクの名前を入力してください(プログラムと同じ名前も使 用できます)(T) 概要書登録 このタスクの実行: ④ 日単位(D) ① 週単位(W) ① 月単位(M) ① 1 回だけ実行(D) ① コンピュータ起動時(S) ② ログオン時(L)	
	< 戻る(B) 次へ(N)> キャンセル	

5) 開始時間、実行間隔、開始日を入力し、[次へ]をクリックします。

タスク ウィザード	×
	このタスクを開始する日時を選択してください。 開始時刻(T):   0:00
	このタスクの実行: ● <u>毎日(A)</u> ● 平日(W) ● 間隔(E) 1 三 日に1回
	開始日 (D): 2010/04/01 -
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

6) バッチの実行ユーザー名、パスワード、パスワード確認を入力し、[次へ]をクリックします。 ユーザー名には、OS の管理者(Administrator)権限を持ったユーザを設定します。

タスク ウィザード	×
	ユーザー名とパスワードを入力してください。このユーザーが開始し たものとしてタスクが実行されます。
· 0	ユーザー名( <u>A</u> ): roadinfo
	パスワード( <u>P</u> ): *********
	パスワードの確認入力(_): ********
	パスリードが人力されないと、 ール タスクが実行されない 場合があります。
	管理者権限のあるユーザを設定すること。
	< 戻る(B) 次へ(山) > キャンセル

7) [完了]をクリックします。

タスク ウィザード		×
	スケジュールされたタスク: 概要書登録	
2	このタスクの実行予定時間は次のとおりです: 設定日: 2010/04/01, 開始時刻: 0:00 間隔: 毎日,	
	□ [完了]をクリックしたときに詳細プロパティを開く(A)	
	「完了」をクリックすると、このタスクがスケジュールに追加されます。	
	< 戻る(B) 完了 キャンセル	

#### (2)タスク登録するバッチ一覧

1) 概要書情報登録

a)(1)の手順でパッチ(Importbat)をタスク登録します。
#### b)タスクのプロパティを開きます。

<b>概</b> 要書登錄	? ×
タスク スケジュール   設定   セキュリティ	
C:¥WINDOWS¥Tasks¥概要書登録.job	_
実行するファイル名(R): C:¥roadinfo¥application¥bat¥import.bat	
参照( <u>B</u> )	
開始( <u>T</u> ): C:¥roadinfo¥application¥bat	
コメント©:	設定されていること。
実行するアカウント名(U): roadinfo	- 11
パスワードの設定(5)	
□ ログオンしている場合にのみ実行する (「実行する] がオンになっている場合)(L) ▼ 実行する (スケジュールされたタスクは指定の時間に実行されます)(E)	
OK キャンセル 適用(	<u>(A)</u>

c)タスクタブを選択し、実行するファイル名の入力欄にバッチ引数を設定します。

設定前····~¥import.bat

設定後····~¥import.bat(引数1)(引数2)(引数3)(引数4)(引数5)

▶ :設定する引数については、「概要書情報の登録」の項を参照してください。

#### ■Windows Server 2008の場合

Web サーバのスタートメニューより、[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]→[タスクスケジュ ーラ]を選択し、「タスクスケジューラ」を起動します。画面右の操作の[基本タスクの作成]をクリックし、新規タスクを 作成します。[基本タスクの作成]をクリックすると以下の画面が表示されます。タスクの名前を任意に入力します。例 として import としました。[次へ]ボタンをクリックします。

基本タスクの作成ウィザード		×	
「「」 基本タスクの作成	5		
基本93200作成 19ガ 操作 完了	このウィザードでは、 詳細オブションや設	共通タスクを素早くスケジュールします。複数のタスク操作やトリガなどの 定は、[]操作[] ペインの [タスクの作成] コマンドを使ってください。	
	名前( <u>A</u> ):	import	
	【党 <sup>8</sup> 月( <u>D</u> ):		
		あとでわかりた の説明を書きま	やすいようにタスク ます。
		< 戻る(B) <b>/次へ(M) &gt; キャンセル</b>	]

トリガの画面では、タスク開始条件を入力します。「次へ」ボタンをクリックします。



以下の画面で開始日と時間、間隔の入力をします。[次へ]ボタンをクリックします。

基本タスクの作成ウィザード						×
1 毎日						
基本タスクの作成 トリガ 毎日 操作 完了	開始(S): 間源(Q)	2013/03/15	<ul><li>▼ 0.00:00</li><li>□</li></ul>		□ 協定世界時(	Ø
				< 戻る( <u>B</u> )	  次へ( <u>N</u> ) > キ	ャンセル

以下の画面でタスクを操作に[プログラムの開始]をクリックします。[次へ]ボタンをクリックします。

基本タスクの作成ウィザード での 操作			×
基本タスクの作成 トリガ 毎日 操作 売了	タスクでどの操作を実行しますか? ・ プログラムの開始(T) ・ 電子メールの送信(S) ・ メッセージの表示( <u>M</u> )		
		< 戻る( <u>B</u> )	次へ(N)> キャンセル

以下の画面で実行するプログラムと、引数を指定します。また開始(オプション)には、プログラムの実

行フォルダを指定しま <sup>基本タスクの作成ウィザード</sup>	す。[次へ]ボタンをクリ	りックします。	×	
🔟 プログラムの開始				
基本タスクの作成 トリガ 毎日	プログラム/スクリプト( <u>P</u> ):			参照ボタンで実行するプログラム を指定します。
操作 プログラムの起動	C:¥roadinfo¥application¥bat¥imp	ortbat	参照( <u>B</u> )	
完了	引数の追加 (オブション)( <u>A</u> ): 開始 (オプション)( <u>T</u> ):	þJ610S0012 admin "C:¥	(AAA¥BBB" 1 1 on¥bat	プログラムの引数を記載します。
				プログラムの実行フォルダを必ず 指定してください。
		< 戻る(B) 次	へ(N) > キャンセル	

▶:設定する引数については、「概要書情報の登録」の項を参照してください。

以下の画面で[[完了]をクリックしたときに、このタスクの[プロパティ]ダイアログを開く]のチェックボッ クスにチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

基本タスクの作成ウィザード		×
🔟 概要		
基本タスクの作成 トリガ 毎日 操作 プログラムの起動	名前: 下0万:	jimport 毎日:毎日 0:00 (記動
完了	<b>操作:</b>	
	🔽 院了]をりい!	りしたときに、このタスクの [プロパティ] ダイアログを開く
	[完了] をクリックし; ます。	とときに、新しいタスクが作成され、Windows スケジュールに追加され
		< 戻る(B) 完了(F) キャンセル

以下の画面で[ユーザがログオンしているか同化にかかわらず実行する]を選択します。さらに[最上 位の特権で実行する]のチェックボックスにチェックをします。[OK]ボタンをクリックし完了します。

import のプロパティ (ロ	ーカル コンピュータ)	×
全般   川ガ   操作	条件  設定  履歴	
名前( <u>M</u> ):	import	
作成者:	DJSVR03¥Administrator	
[党B月( <u>D</u> ):		-
ーセキュリティ オプション	<u></u>	
タスクの実行時に使う	ユーザー アカウント:	
DJSVR03¥Adminis	trator ユーザーまたはグループの変更( <u>U</u> )…	
○ ユーザーがログオン	っしているときのみ実行する(R)	
<ul> <li>ユーザーがログオン</li> </ul>	∠しているかどうかにかかわらず実行する( <u>₩</u> )	
□ パスワードを(	呆存しない( <u>P</u> ) タスクがアクセスできるのはローカル コンピュータ リソースのみ	
▶ 最上位の特権で	実行する(①	
 □ 表示しない( <u>E</u> )	構成(©): Windows Vista* または Windows Server* 2008 💆	1
	OK         キャンセル	

■ タスク作成済みの場合、タスクのプロパティを表示するとこの画面が表示されます。

# 10ユーザ情報の登録

ここではシステムを利用するためのユーザ登録作業について説明します。ユーザには、管理者ユーザと一般ユー ザがあります。管理者ユーザはシステム全体の管理機能を利用できる特別なユーザです。システムの利用者は、一 般ユーザとなります。一般ユーザには、GISの利用において、データ登録可能である登録権限とデータ参照可能な参 照権限を割り当てます。システムをご利用される職員の方々の業務目的に応じて設定します。この作業は Web サーバ にhttpでアクセスできる環境で実行する必要があります。

ユーザ区分	システム管理権限	GIS 利用権限	備考
管理者ユーザ	あり	登録権限/閲覧	管理者ユーザは、システムを維持管理するため
			の特別なユーザです。
一般ユーザ	なし	登録権限/閲覧	指定道路等の情報を登録することができるユー
			ザです。登録権限のない一般ユーザには閲覧
			できない仮データ登録することも可能です。
		庁内閲覧	公開対象に設定された指定道路の情報を閲覧
			のみ可能なユーザです。
		窓口閲覧	庁内に設置された PC を住民が利用し、指定道
			路の情報を閲覧するための権限です。庁内閲
			覧権限からさらに閲覧可能な項目が限定されて
			います。指定道路図と調書第一面の情報の閲
			覧のみ可能です。
データ移行	なし	なし	業者や地域を分けて整備したデータを移行する
			ためのユーザとなります。データ移行取込み機
			能が利用可能です。

## 10.1 管理ツールを使用したユーザ情報の登録

1)ユーザ情報の登録をします。

▶️: 管理ツール操作マニュアル 【ユーザ管理】-「新しいユーザを登録する」の項を参照してください。

# 11その他のシステム情報の変更

ここではシステムで表示しているその他のシステム情報について変更方法についてについて説明します。この作業は Web サーバで OS の管理者(Administrator)権限を持ったユーザで実行する必要があります。

## 11.1 ログイン時地図表示位置の変更

地図表示位置は、インポートした背景データの範囲の中心に自動的に設定されています。ただし、行政界の境界線の形状 によっては、地図のない位置や山間部等に設定されてしまうことがあります。本システムでは、設定ファイルを編集すること により、ログイン時の地図表示位置を平面直角座標で設定することが可能です。この作業は Web サーバで OS の管理者 (Administrator)権限を持ったユーザで実行する必要があります。

### 1) configini ファイルを編集します。

C:¥ドライブにシステムをインストールした場合、以下のパスに configini があります。

例 Cドライブヘシステムインストール時のパス

C:¥roadinfo¥application¥config¥config.ini

このファイルをテキスト編集ソフトで編集します。configiniの86行目付近にカテゴリ名があります。さらにその数行下の これらの設定項目があります。項目の右辺の値が編集対象です。

カテゴリ	項目	内容
DJ000S0001	mapStartScale	地図の初期表示スケールの分母を設定します。
DJ000S0001 mapStar		地図の初期表示位置 X 座標を設定します。
	mapStartPosX	地図の初期表示位置 X 座標を設定します。 (横軸の方向の値で、平面直角座標では、Y 軸の座標です。)
		地図の初期表示位置 Y 座標を設定します。
DJ000S0001	mapStartPosY	  (縦軸の方向の値で、平面直角座標では、X 軸の座標です。)

### 表 config.ini 設定項目(地図の初期表示位置)

#### 設定例

[DJ000S0001]

mapStartScale = 2500

mapStartPosX = -23079.10444

mapStartPosY = -45554.45186

## 11.2 問い合わせ先の変更

システムの画面下部(以下、フッターという)に問い合わせ先の情報を表示しています。インストールを行ったあとで 問い合わせ先が変更になった場合、システムで表示している問い合わせ先の情報を変更することができます。

C:¥ドライブにシステムをインストールした場合、以下のパスに configini があります。

例 Cドライブヘシステムインストール時のパス

C:¥roadinfo¥application¥config¥config.ini

このファイルをテキスト編集ソフトで編集します。configiniの1行目付近にカテゴリ名があります。さらにその数行下の これらの設定項目があります。

### 1) 画面下部に表示する問い合わせ先情報の変更をする。

config.ini ファイルを編集します。

このファイルをテキスト編集ソフトで編集します。configiniの86行目付近にカテゴリ名があります。さらにその数行下の これらの設定項目があります。項目の右辺の値が編集対象です。

カテゴリ	項目	内容
global	site_title	サイトのタイトルを設定します。 サイトのタイトルとしてヘッダーに表示されます。
global	copyright	コピーライト情報を設定します。サイトのフッターとして表示されます。
global	tel	問合せ先電話番号を設定します。サイトのフッターとして表示されま す。
global	mail	問合せ先メールアドレスを設定します。サイトのフッターとして表示 されます。
global	agency	担当行政名を設定します。サイトのフッターとして表示されます。
global	contact_time	問合せ先の、問合せ対応時刻を設定します。 サイトのフッターとして表示されます。

#### 表 configini 設定項目抜粋(フッタ部表示内容)

### 設定例

; 初期設定情	報 ———
[global]	
site_title	= "道路情報登録閲覧システム"
copyright	= "Copyright (c) 2008 ICBA All rights reserved."
tel	= ″ 03–5225–7719″
mail	= "gr-douro@icba.or.jp"
agency	= "財団法人建築行政情報センター"
contact_time =″お	問い合わせ:8 時 30 分~19 時(土日祝祭日等を除く)

## 11.3 アップロード容量の設定

道路情報取込みのアップロード容量はデフォルトで128MB までとなっていますが、以下の設定を行うことによりア ップロード容量を最大 1.9GB まで増やすことができます。ただし、圧縮ファイルをアップロードする場合、非圧縮状 態で 1.9GB 以下のファイルサイズである必要があります。

以下の2ファイルについて設定を行って下さい。

[C:¥roadinfo¥application¥config¥config.ini]

maxImportSize = 2047

このファイルは、文字コードをUTF-8で保存して下さい。

[C:¥roadinfo¥ms4w¥Apache¥cgi-bin¥php.ini]

upload\_max\_filesize = 2047M

post\_max\_size = 2047M

memory\_limit = 2047M

このファイルは、文字コードを SHIFT-JIS で保存して下さい。

変更後、再起動が必要となります。

アップロード処理の進捗状況については、php.exeのプロセスが起動しているかどうか、あるいはログに終了メッ セージ(「道路情報取込み-【終了】」)が記録されているかどうかで確認することができます。

大容量データの登録処理が完了したら、以下の元の値に戻してください。変更後は再起動が必要です。

[C:¥roadinfo¥application¥config¥config.ini]

maxImportSize = 128

[C:¥roadinfo¥ms4w¥Apache¥cgi-bin¥php.ini]

upload\_max\_filesize = 1024M

post\_max\_size = 1024M

memory\_limit = 1024M

## 11.4 その他の設定

システム設定ファイルを編集することにより、システムの設定値を変更することが可能です。通常、変更する必要は ありません。システム設定値は、不適切な値を指定してしまうと、システムが正しく動作しなくなる可能性があるため、 変更可能なパラメータと変更不可なパラメータがあります。変更不可なパラメータは絶対に書換えないで下さい。また、 システム設定値を変更する場合は、システム設定ファイルのバックアップを取ることをお勧めします。

システム設定ファイル C:¥roadinfo¥application¥config¥config.ini

(Cドライブへ道路情報登録閲覧システム(roadinfo)をインストールした場合です。他のドライブにインストールしている場合、インストールしたドライブ名に読み替えてください。)

カテゴリ	項目	意味	編集可/不
			可
global	site_title	<ul> <li>サイトのタイトルを設定します。サイトのタイト</li> <li>ルとしてヘッダーに表示されます。</li> </ul>	編集可
	copyright	コピーライト情報を設定します。サイトのフッ ターとして表示されます。	編集可
	tel	問合せ先電話番号を設定します。サイトのフ ッターとして表示されます。	編集可
	mail	問合せ先メールアドレスを設定いします。サ イトのフッターとして表示されます。	編集可
	agency	担当行政名を設定します。サイトのフッターと して表示されます。	編集可
	contact_time2	問合せ先の問合せ対応時刻を設定します。 サイトのフッターとして表示されます。	編集可
datasource	adapter	接続する DB アダプタ名を設定します。	編集不可
	param.host	接続する DB ホスト名を設定します。	編集不可
	param.username	接続する DB アクセスユーザ ID を設定しま   す。	編集不可
	param.password	接続する DB パスワードを設定します。	編集不可
	param.dbname	接続する DB 名を設定します。	編集不可
	param.port	接続する DB の接続ポートを設定します。	編集不可
auth	tableName	認証情報が格納されているテーブル名を設 定します。	編集不可
	identityColumn	認証情報が格納されているテーブル内のユ ーザ ID のカラム名を設定します。	編集不可
	credentialColumn	認証情報が格納されているテーブル内のパ スワードのカラム名を設定します。	編集不可
	userNameColumn	認証情報が格納されているテーブル内のユ ーザ名のカラム名を設定します。	編集不可
	session_expire_all	<ul> <li>システムへログインしてからログアウトする</li> <li>までの全体のセッション制限時間(秒単位)を</li> <li>設定します。</li> <li>2 と設定すると制限時間は無効となります。</li> </ul>	編集可

カテゴリ	項目	意味	編集可/不 可
	session_expire_page	ページごとに設定するセッション制限時間(秒 単位)を設定します。セッション制限時間を設 定すると以下の1)から3)の管理が有効にな りますが、画面右上のログアウトボタンで正 常にログアウトしない場合、セッション制限時 間が経過するまで、ユーザ情報がサーバに 保持されたままになり、ログインできなくなり ますので運用上注意が必要です。 1)同一ユーザIDのログイン制限 2)管理ツールへのログインを一人のみに する制限 3)GIS 画面の同時利用者数制限 この設定値 0 と設定すると制限時間は無効と なり、1)~3)のログイン制限のチェックを行 いません。インストール時には、0 になってい ます。運用上、ユーザ情報の編集以外、管理 ツールを同時に使用しないようにしてくださ い。	編集可
	withGis	庁内版にて GIS 機能の有無を設定します。 GIS 有:1 、GIS 無:0	編集不可 (GIS 有無を 運用で変更す る場合のみ 編集可
	inEdition1	Edition 設定。1に固定	編集不可
message	tableName	メッセージ情報が格納されているテーブル名 を設定します。	編集不可
	idFieldName	メッセージ情報が格納されているテーブル内 のメッセージ ID のカラム名を設定します。	編集不可
	messageFieldName	メッセージ情報が格納されているテーブル内 のメッセージのカラム名を設定します。	編集不可
file	maxUploadSize	道路情報の添付ファイル、調書二面(手動)及 び属性情報(ファイル)をアップロードする際 の最大ファイルサイズ(MB)を設定します。	編集可
	maxImportSize	各種取込におけるデータインポート時の最大 サイズ(MB)を設定します。 php.iniのupload_max_filesize以下にする必要 があります。	編集可
	uploadRootFolder	アップロードファイルの格納フォルダパス (public 配下)を設定します。	編集不可
	exportRootFolder	出力処理のデータ出力先のフォルダパス (public 配下)を設定します。	編集不可
	uploadRoadrecFolder	指定道路の調書第二面と添付ファイルの格 納フォルダ名を設定します。	編集不可
	autoRoadrecDateFormat	   調書第二面(自動)の画面上における表示書    式を設定します。	編集不可

カテゴリ	項目	意味	編集可/不 可
	uploadItemAttFolder	属性登録(ファイル)における添付ファイル格 納フォルダ名を設定します。	編集不可
	uploadFolder.dateFormat	取込時のフォルダ名やファイル名の日付書 式を設定します。	編集不可
	uploadFolder.errorFileformat	エラーファイル名の書式(%s は日付に置き換わる)を設定します。	編集不可
	uploadBackgroundFolder.name	各種取込で使用するアップロードフォルダ名 (背景図)を設定します。	編集不可
	uploadRoadshapeFolder.name	各種取込で使用するアップロードフォルダ名 (道路図)を設定します。	編集不可
	uploadAddressFolder.name	各種取込で使用するアップロードフォルダ名 (住所情報)を設定します。	編集不可
	uploadLandmarkFolder.name	各種取込で使用するアップロードフォルダ名 (目標物情報)を設定します。	編集不可
	uploadRoadinfoFolder.name	各種取込で使用するアップロードフォルダ名 (道路情報)を設定します。	編集不可
DJ000S0001	startTodoufukenCd	都道府県のスタートのコードを設定します。 (使用しません)	編集不可
	mapMoveX	地図の方向ボタンでの横への移動量(px)を 設定します。	編集可
	mapMoveY	地図の方向ボタンでの縦への移動量(px)を 設定します。	編集可
	isExistTodoufukenData	都道府県データの有無(有:1 無:0)を設定しま す。(使用しません)	編集不可
	mapStartScale	   地図の初期表示スケールを設定します。	編集可
DJ710S0005	maxItemCount	設定できる属性数の上限を指定します。	編集不可
DJ430S0001	searchItemCount	検索項目の数を設定します。上限値は 99 と なります。	編集不可
DJ420S0002	attention	注意書きを設定します。(使用しません)	編集不可
	visibleFiles	ブラウザで見ることができる画像の拡張子を 設定します。 ここで設定した内容は public/.htaccess にも反 映して下さい。	編集不可
DJ330S0001	imageBaseScale	作成されるイメージのスケールを設定します。	編集不可
	imageWidth	   作成されるイメージの幅(px)を設定します。	編集不可
	imageHeight	作成されるイメージの高さ(px)を設定しま す。	編集不可
	mapMoveX		編集可

カテゴリ	項目	意味	編集可/不 可
	mapMoveY	方向ボタンでの縦への移動量(px)を設定します。	編集可
DJ460S0001	format	分割後の備考の名称書式を設定します。	編集可
DJ180S0001	Title	タイトルの既定値を設定します。	編集可
DJ180S0002	heightV_A3	用紙サイズ A3、印刷方向縦の場合の地図の 高さ(px)を設定します。	編集可
	widthV_A3	用紙サイズ A3、印刷方向縦の場合の地図の 幅(px)を設定します。	編集可
	heightH_A3	用紙サイズ A3、印刷方向横の場合の地図の 高さ(px)を設定します。	編集可
	widthH_A3	用紙サイズ A3、印刷方向横の場合の地図の 幅(px)を設定します。	編集可
	heightV_A4	用紙サイズ A4、印刷方向縦の場合の地図の 高さ(px)を設定します。	編集可
	widthV_A4	用紙サイズ A4、印刷方向縦の場合の地図の 幅(px)を設定します。	編集可
	heightH_A4	用紙サイズ A4、印刷方向横の場合の地図の 高さ(px)を設定します。	編集可
	widthH_A4	用紙サイズ A4、印刷方向横の場合の地図の 幅(px)を設定します。	編集可
DJ320S0001	tolerances	   指定した道路図からの地番検索範囲(m)を設   定します。	編集可
DJ610S0006	guidance.create	自動リンク画面の処理開始前の表示メッセー ジを設定します。	編集不可
	guidance.execute	自動リンク画面の処理終了後の表示メッセー ジを設定します。	編集不可
DJ610S0002	refMapColor_921	索引図レイヤ No921 に対応する配色を設定します。	編集可
	refMapColor_922	索引図レイヤ No922 に対応する配色を設定します。	編集可
	refMapColor_923	索引図レイヤ No923 に対応する配色を設定します。	編集可
	refMapColor_924	索引図レイヤ No924 に対応する配色を設定します。	編集可
	refMapColor_925	索引図レイヤ No925 に対応する配色を設定します。	編集可
	refMapColor_926	索引図レイヤ No926 に対応する配色を設定します。	編集可
	refMapColor_927	   索引図レイヤ No927 に対応する配色を設定し   ます。	編集可

カテゴリ	項目	意味	編集可/不 可
	refMapColor_928	索引図レイヤ No928 に対応する配色を設定します。	編集可
	refMapColor_929	索引図レイヤ No929 に対応する配色を設定します。	編集可
	refMapColor_931	索引図レイヤ No931 に対応する配色を設定します。	編集可
	refMapColor_932	索引図レイヤ No932 に対応する配色を設定します。	編集可
	refMapColor_933	索引図レイヤ No933 に対応する配色を設定します。	編集可
	refMapColor_934	索引図レイヤ No934 に対応する配色を設定します。	編集可
	refMapColor_935	索引図レイヤ No935 に対応する配色を設定します。	編集可
	refMapColor_936	索引図レイヤ No936 に対応する配色を設定します。	編集可
	refMapColor_937	索引図レイヤ No937 に対応する配色を設定します。	編集可
	refMapColor_938	索引図レイヤ No938 に対応する配色を設定します。	編集可
	refMapColor_939	索引図レイヤ No939 に対応する配色を設定します。	編集可
	refMapPolygonMinNumber	索引図(ポリゴン)のレイヤ No の最大値を設 定します。	編集可
	refMapPolygonMaxNumber	索引図(ポリゴン)のレイヤ No の最小値を設 定します。	編集可
	refMapPolyLineMinNumber	索引図(ライン)のレイヤ No の最大値を設定 します。	編集可
	refMapPolyLineMaxNumber	索引図(ライン)のレイヤ № の最小値を設定 します。	編集可
DJ430S0002	maxAmount	検索結果一覧において表示できる最大件 数を設定します。	編集不可
DJ630S0003	maxAmount	ログ検索からログ表示したときに表示でき る最大件数を設定します。	編集不可
DJ610S0014	guidance.create	概要書自動リンク画面の処理開始前の表 示メッセージを設定します。	編集不可
	guidance.execute	概要書自動リンク画面の処理終了後の表 示メッセージを設定します。	編集不可

カテゴリ	項目	意味	編集可/不 可
DJ620S0005	exportDir	概要書図形を出力するフォルダを設定しま す。(インストールフォルダ配下の bat フォ ルダからの相対パスか、ドライブ名込みの フルパスの指定可)	編集可
DJ870S0002	maxAmount	概要書検索結果一覧において表示できる 最大件数	編集不可



クライアントからのアクセスを確認します。

#### 1) プロキシの除外登録

インストールしたサーバへアクセスするときにプロキシサーバを経由しない方法にします。

■ Internet Explorer6/7/8/9の場合

「ツール」「インターネットオプション」の接続タブを開き、[LAN の設定]をクリックします。

LAN の設定画面が表示されるので、[詳細設定]をクリックし、プロキシの設定画面の例外で、インストールしたサ ーバ(ホスト名または IP アドレス)を登録してください。

プロキシの	资定			
-サ-バ 	種類	使用するプロキシのアドレス	ポート	
<b>*</b> =	HTTP( <u>H</u> ): Secure( <u>S</u> ):			
	FTP( <u>F</u> ): Socks( <u>C</u> ):	各環境固有の設定	Þ	
	すべてのプ	ロトコルに同じプロキシ サーバーを使用する(U)		登録します。
例外 ここでも立めて 次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない(い):				
		を使用してエントリを分けてください。		
		OK	キャンセル	

■ FireFox18.0.1 の場合

「ツール」「オプション」の詳細 | ネットワークタブを開き、[接続設定]をクリックします。

インターネット接続画面が表示されるので、直接接続するサイトに、インストールしたサーバ(ホスト名または IP アドレス)を登録してください。

インターネット接続		
インターネット接続に使用するプロ	キシの設定	
○ プロギジを使用しない(Y)		
○ このネットワークのプロキシ設置	定を自動検出する( <u>W</u> ) 	
○ システムのプロキシ設定を利	用する(U)	
・ 手動でプロギシを設定する( )	<u>a):</u>	
HTTP プロキシ⊗:		
SSL プロキシ(L):		
FTP プロキシ( <u>E</u> ):	各環境固有の設定	
SOCKS ホスト(C):		
プロキシなしで接続( <u>N</u> ):		
例: .mozilla.org, .net.nz, 19	2.168.1.0/24	
○ 自動プロキシ設定スクリプト		こ登録します。
	(10000)	Conter
		1-1(4)

### 1)起動の確認

所定の URL(http://(サーバのホスト名、または IP アドレス)を Web ブラウザのアドレス欄に入力します。



#### 以下の画面が表示されます。

アイルビ 建築	🧏 道路情報登録閲覧ジステム - Microsoft Internet Explorer	
● R5 ・ ② ・ ③ ② ③ 小 株素 ☆ かえに入り ②     PPUス型 ④ http://10.46185115/watchne/index/index     ・ ② PM     ● Minp://10.46185115/watchne/index/index     ・    ・    ・    ・    ・    ・    ・	ファイル(と) 編集(と) 表示(2) お気に入り(2) ツール(1) ヘルブ(2)	1
アドレス型 創 http://10.44185.115/watchine/index/index	③ R5 · ③ · 图 图 分 户 被乘 ★ D系に入り ④	
通路情報登録閲覧システム         ヘルプ           ユーザIDBよびパスワードを入力し、ロゲインボジンを用して下さい。           コーザID           パスワード           パスワード	アドレス(1) (金) http://10.46.185.115/watchme/index/index	💌 🛃 Rab
ユーザIDおよびバスワードを入力し、ロザインボタンを押して下さい。 ユーザD	」 「「「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」	ヘルブ <sup>ヘ</sup>
ユーザ町 パスワード ログイン 牛ャンセル	ユーザIDおよびバスワードを入力し、ログインボタンを押して下さい。	
ユーザ町 パスワード ログイン キャンセル		
ユーザD パスワード ログイン キャンセル		
ユーザD		
ユーザ回 1127-ド ログイン キャンセル		
ログイン キャンセル	2-4D	
ログイン)(キャンセル)		
ログイン 「キャンセル」		
ログイン キャンセル		
	1017 ++>EN	

2) 以下のユーザ名とパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。

項番	項目	値	備考
1	ユーザ名	admin	
2	パスワード	admin	パスワードを変更している場合、変更後のパスワ
			ードを入力してください。

地図画面に切り替わり、地図が表示されれば作業は完了です。

# 13アンインストール手順

システムをアンインストールする場合、以下に示す4つの作業をします。(1)から(3)の作業は、Web サーバで行います。(4)の作業は、DB サーバで行います。

- (1) Web サーバとアプリケーションの削除
- (2) ZendOptimaizer の削除
- (3) アプリケーションフォルダの削除
- (4) PostgreSQLとPostGISの削除

# 13.1 Web サーバとアプリケーションの削除

この作業はWebサーバでOSの管理者(Adminstrator)権限を持ったユーザで実行する必要があります。

1)■Windows Server 2003の場合

タスクバーの[スタート]-[マイコンピュータ]-右クリック-[管理を選択します。

#### ■Windows Server 2008の場合

タスクバーの[スタート]-[すべてのプログラム]-[管理ツール]-[サービス]を選択します。



コンピュータの管理ウインドウが表示されます。

🚽 コンピュータの管理				
見 ファイル(E) 操作( <u>A</u> ) 表示(⊻)	ウィンドウ(W) ヘルプ(日)			_ 8 ×
← →   🖻 🔃 🖆 🖻 🖹 🖆	? ▣   ▶ ■    ■▶			
ヨンピュータの管理(ローカル) 白、縦、シフテム ツール	🐁 サービス			
	Apache MS4W Web Server	名前 △	説明 状態	スタートアップの種類 🔺
田一長 共有フォルタ	H. 197 (c) 1	総 Alerter	選択	無効
□ 37 1 77 2 7 2277 7 2	<u>リービスの1916</u>  サービスの再起動	Mache M54W Web	Apac 開始	
デバイス マネージャー		Application Layer	11月 1111	手動 二
白 🛍 記憶域		Application Manage	Activ	
■ 審 リムーハフル記憶域	Apache/2.2.8 (Win32)	🍇 Automatic Updates	Windo… 開始	
ディスクの管理		🍇 Background Intellig	ፖイド	ダブルカリックレアください
□ 🚱 サービスとアプリケーション		🆏 Clip Book	クリップ	\$77077770CCC2E6.
<u><u><u></u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u></u>		🎇 COM+ Event System	サポー… 開始	自動
… 🎭 サービス		System Appl	コンボー	手動
אריםאכב אייםא 🎦	1	🎇 Computer Browser	ネット 開始	自動
🖻 🎦 インデックス サービス		Cryptographic Serv	提供… 開始	自動
		🆏 DCOM Server Proc	DCO… 開始	自動
		🆏 DHCP Client	このコ 開始	自動
		🆏 Distributed File Sy	異なる	手動
		🆏 Distributed Link Tr	クライ 開始	自動
		🍇 Distributed Link Tr	同じド	無効
		🤹 Distributed Transa	データ	自動
		AB, DNC OK-		
		1		

コンピュータの管理ウインドウの左側の[サービスとアプリケーション]ー[サービス]を選択します。

サービスの画面の右側の一覧から"Apache MS4W Web Server"を選択し、ダブルクリックしてサービスのプロパティのウ インドウを開きます。

(ローカル コンピュータ)	Apache MS4W Web Server のプロパティ	? ×
全般 ログオン 回	復 依存関係	
サービス名:	ApacheMS4WWebServer	
表示名( <u>N</u> ):	Apache MS4W Web Server	
[兑8月( <u>D</u> ):	Apache/2.2.8 (Win32)	-
実行ファイルのパス( <u>t</u> 『C:¥roadinfo¥ms4v	1): W <sup>¥Apache¥bin¥httpd.exe</sup> クリックしてください。	
スタートアップの 種類(E):	自動	•
サービスの状態:	開始	
開始(3)	停止① 一時停止② 再開®	
ここでサービスを開始	するときに適用する開始パラメータを指定してください。	
開始パラメータ(M):		
	OK キャンセル 適用	A)

5)サービスの状態の欄の[停止]ボタンをクリックします。

	💼 管理ツール	•		
	🛅 PostgreSQL 8.2	•		
	🛅 PostGIS 1.3.2 for PostgreSQL 8.2	▶		
	🛅 Zend Optimizer - 3.3.0	<u> </u>		
	💼 道路情報登録閲覧システム	🕨 🎯 Uninstall		
	🛅 アクセサリ	▶ 📰 道路情報登録閲覧システム		
すべてのプログラム(P) ♪	🛅 スタートアップ			
	💋 อตีสวน) 🛛 องคงหรีต์	שעל		
<u>₽</u> スタート 8 @				

6) [スタートメニュー] - [すべてのプログラム] - [道路情報登録閲覧システム] - [Uninstall]を選択します。

7)以下のウインドウが表示されるので、本当にアンインストールしてよい場合、[はい]をクリックします。 アンインストールを取り消したい場合、[いいえ]をクリックします。アンインストールが中止されます。

道路情報	を録閲覧システム アンインストール	×
?	道路情報登録閲覧システム とコンポーネントを削除してもよろしいでしょうか	?
	(武い(Y)) いいえ(N)	

8)アンインストーラーが起動し実行されますので、終了するまでしばらくお待ちください。

以下のウインドウが表示された場合、[はい]ボタンをクリックしてください。



9) 下記メッセージが表示され、アンインストーラーでの作業が完了します。[OK]ボタンをクリックしてください



### 10)コマンドプロンプトで以下のコマンドを実行し、サービスを削除します。

(コマンドプロンプトは、[スタート]-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]にあります。)

#### C:¥>sc delete ApacheMS4WWebServer



11)サーバの OS を再起動してください。

## 13.2 Zend Optimizer のアンインストール手順

この作業はWebサーバでOSの管理者(Adminstrator)権限を持ったユーザで実行する必要があります。

1) ■Windows Server 2003 の場合

「スタートメニュー」⇒「コントロールパネル」⇒「プログラムの追加と削除」を選択します。

■Windows Server 2008の場合

「スタートメニュー」⇒「コントロールパネル」⇒「プログラムの機能」を選択します。

#### 2) ■Windows Server 2003 の場合

プログラムの一覧から"Zend Optimizer"を選択し、[削除]ボタンをクリックします。削除処理が実行されます。

■Windows Server 2008 の場合

プログラムの一覧から"Zend Optimizer"をダブルクリックまたは、選択し、メニューの[アンインストール]を選びます。 削除処理が実行されます。

	現在インストールされているプログラム: ロ 更新プログラムの表示(D)	並べ替え( <u>S</u> ): 名前	•
_フロクラムの    変更と削除( <u>H</u> )	🛃 ATI Display Driver		
<i>.</i>	퀧 Dell OpenManage Server Administrator	サイズ	146.00MB
. 🌆	ॷ LiveUpdate 2.0 (Symantec Corporation)	サイズ	7.71 ME
ブログラムの 追加( <u>N</u> )	😿 PC Wizard 2008.1.85.1	サイズ	3.70MB
<i>i</i>	🚯 PostGIS 1.3.2 for PostgreSQL 8.2 (remove only)	サイズ	204.00MB
	🛃 PostgreSQL 8.2	サイズ	73.91 ME
Windows ンポーネントの	🛐 sakura editor(サクラエディタ)	サイズ	3.48ME
訪加と肖川除( <u>A</u> )	🚯 Symantec AntiVirus	サイズ	37.99ME
	15 windows Server 2003 Service Fack 2		
	📥 Zend Optimizer	サイズ	<u>5.21 ME</u>
	サポート情報を参照するには、ここをクリックしてください。		
	コンピュータからこのプログラムを削り除するには、「削り除」をクリックしてください。		削除
	◎□ 満取性報酬発発問題のフラル 10		

3)以下のウインドウが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。

Zend Optimizer – Ins	tallShield Wizard		×		
Do you want to completely remove the selected application and all of its features?					
		いいえ( <u>N</u> )			

#### 4)以下のウインドウが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。

Question	
2	During the uninstallation the web server will not be avialable until the installation is completed. Do you agree?
	【【【【【【】【】】 (パンえ(1))

5)以下のウインドウが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。





6)以下のウインドウが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。



7)以下のウインドウが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。

Zend Opt	imizer – InstallShield Wizard 🛛 🗙
⚠	Your Apache Web Server is not installed as Wincows service. You should start it manually. NOTE: You must start Apache manually before pressing the OK button!
	OK

8) "Zend Optimizer"のアンインストールは、完了です。

## 13.3 アプリケーションフォルダの削除

この作業はWebサーバでOSの管理者(Adminstrator)権限を持ったユーザで実行する必要があります。

1)エクスプローラーを開き、roadinfo フォルダ内の mapconv フォルダ以外を削除してください。

デフォルト設定では、c:¥roadinfo になります。異なるドライブにインストールしていた場合、インストールしたドライブのフォルダを削除してください。

フォルダを削除できない場合、OSの再起動を行ってください。

背景図変換ツールをインストールしていない場合は、mapconv フォルダは作成されていませんので、roadinfo フォル ダごと削除してください。

ファイルE) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(I) ヘルブ(H)       ●         ● 戻る・●・♪ ● 検索 ● フォルダ       ●         アドレス(D) ● C*roadinfo       ●         フォルダ       ●         ● ローカル ディスク (C.)       ●         ● 方6493 dbe5d2b2b0f28ebc6a54e60ff       ●         ● backup       ●         ● BOSME       ●         ● ○ OAta       ●         ● Data       ●         ● Data       ●         ● Data       ●         ● Novadigm       ●         ● Program Files       ●         ● RECYCLER       ●         ● maplocation       ●         ● mogram Files       ●         ● System Sav       ●         ● WINDOWS       ●	🔄 C.¥roadinfo						
<ul> <li>○ 戻る ・ ♪ ♪ 検索 ▷ フォルダ</li> <li>○ アドレス(D) ○ C¥roadinfo</li> <li>○ ローカル ディスク (C.)</li> <li>○ コーカル ディスク (C.)</li> <li>○ コーカ (C.)</li> <l< td=""><td colspan="6">  ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)</td></l<></ul>	ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)						
アドレス(D)       C.¥roadinfo       上 2 移動         アボルダ       ビーカルディスク (C:)       application       ファイル フォルダ       2010/03/01 1745         マローカル ディスク (C:)       ************************************							
フォルダ       ×         ○       □→ル ディスク(C.)       □ application       ファイル フォルダ       2010/03/01 17:45         ○       □ 56493dbe5d2b2b0f28ebc6a54e60ff       □ makemsis.exe       3 KB       ファイル フォルダ       2010/03/01 17:45         ○       □ 56493dbe5d2b2b0f28ebc6a54e60ff       □ makemsis.exe       3 KB       ファイル フォルダ       2010/03/01 17:45         ○       □ 56493dbe5d2b2b0f28ebc6a54e60ff       □ makemsis.exe       3 KB       ファイル フォルダ       2010/03/01 17:45         ○       □ BIOSME       □ makemsis.exe       0 KB       Firefox Document       2008/07/13 303         □       □ COMPAQ       □       ■ README_INSTALLtxt       39 KB       F+スト文書       2008/07/18 832         □       □ Data       □       ■ setenv bat       □       I KB       MS-DOS /\vert P_T/ル       2008/09/26 831         □       □ Documents and Settings       □       □ 386       □       □ makemsis.exe       □       □ 201/03/01 17:45         □       □ program Files       □       □ makem       □ <t< td=""><td>アドレス(D) 🧰 C:¥roadinfo</td><td></td><td></td><td></td><td>💌 🌛 移動</td></t<>	アドレス(D) 🧰 C:¥roadinfo				💌 🌛 移動		
<ul> <li>□ ーカル ディスク (C:)</li> <li>□ Jpcs</li> <li>□ 56493dbe5d2b2b0f28ebc6a54e60ff</li> <li>□ backup</li> <li>□ BIOSME</li> <li>□ COMPAQ</li> <li>□ Data</li> <li>□ Data<td></td><td>名前 🔺</td><td>サイズ</td><td>種類</td><td>更新日時</td></li></ul>		名前 🔺	サイズ	種類	更新日時		
□       roadinfo         ●       application         ●       mapconv         ●       ms4w         □       System Volume Information         ●       system sav         ●       WINDOWS	<ul> <li>□ = JJJF J 1 × J (0.)</li> <li>□ rpcs</li> <li>□ 56493dbe5d2b2b0f28ebc6a54e60ff</li> <li>□ backup</li> <li>□ BIOSME</li> <li>□ COMPAQ</li> <li>□ Data</li> <li>□ Data</li> <li>□ Data_Work</li> <li>□ Documents and Settings</li> <li>□ i386</li> <li>□ Novadigm</li> <li>□ Program Files</li> <li>□ RECYCLER</li> </ul>	mapconv ms4w License.txt makensis.exe README_INSTALL.html README_INSTALL.txt setenv.bat wninst.exe	3 KB 478 KB 60 KB 39 KB 1 KB 126 KB	ファイル フォルダ ファイル フォルダ テキスト文書 アプリケーション Firefox Document テキスト文書 MS-DOS バッチ ファイル アプリケーション	2010/03/10 11:28 2010/03/01 17:45 2008/10/07 13:29 2008/07/13 3:03 2008/02/26 8:32 2008/02/26 8:31 2008/09/26 18:21 2010/03/01 17:45		
▶	roadinfo		705	ש. יר גד ו			

## 13.4 PostgreSQLとPostGISのアンインストール手順

この作業は DB サーバで OS の管理者(Adminstrator)権限を持ったユーザで実行する必要があります。

1) Windows Server 2003 の場合

「スタートメニュー」⇒「コントロールパネル」⇒「プログラムの追加と削除」を選択します。

Windows Server 2008 の場合

「スタートメニュー」⇒「コントロールパネル」⇒「プログラムの機能」を選択します。

2) ■Windows Server 2003 の場合

プログラムの一覧から"PostgreSQL 8.2Zend Optimizer"を選択し、「削除」ボタンをクリックします。削除処理が実行されます。

■Windows Server 2008の場合

プログラムの一覧から"PostgreSQL 8.2Zend Optimizer"をダブルクリックまたは、選択し、メニューの[アンインスト ール]を選びます。削除処理が実行されます。

🐻 フログラムの追	加と削除		
5	現在インストールされているプログラム: ロ 更新プログラムの表示(型)	並べ替え( <u>S</u> ): 名前	•
ブログラムの   変更と削除( <u>H</u> )	🛃 ATI Display Driver		
<u> </u>	퀧 Dell OpenManage Server Administrator	サイズ	146.00MB
	W LiveUpdate 2.0 (Symantec Corporation)	サイズ	7.71 MB
プログラムの 追加( <u>N</u> )	😿 PC Wizard 2008.1.85.1	サイズ	3.70MB
<b>a</b>	A PostGIS 1.3.2 for PostgreSQL 8.2 (remove only)	<i></i> #イブ	204.00MB
	🗗 PostgreSQL 8.2	サイズ	73.91 MB
Windows コンポーネントの	<u>サポート情報を参照するには、ここをクリックしてください。</u>	使用頻度	低
追加と削除( <u>A</u> )	このブログラムを変更したり、コンピュータから削除したりするには、[変更] または 削膨 い。	彩] をクリックしてくださ 変更	「削除
		917	0.40MD
	🌄 Symantec AntiVirus	サイズ	37.99MB
	🔀 Windows Server 2003 Service Pack 2		
	🛆 Zend Optimizer	サイズ	5.21 MB
	📵 道路情報登録閲覧システム 1.0		

3)以下の画面が表示されるので、[はい]ボタンをクリックします。

画面の指示に従い削除作業を完了してください。



4)コントロールパネルの[プログラムの追加と削除]のプログラム一覧に PostGIS が残っているので削除します。

#### ■Windows Server 2003 の場合

「スタートメニュー」⇒「コントロールパネル」⇒「プログラムの追加と削除」を選択します。

#### ■Windows Server 2008 の場合

「スタートメニュー」⇒「コントロールパネル」⇒「プログラムの機能」を選択します。

#### 5) ■Windows Server 2003 の場合

プログラムの一覧から"PostGIS 1.3.2 for PostgreSQL 8.2(remove only)Zend Optimizer"を選択し、[削除]ボタンをクリッ クします。削除処理が実行されます。

■Windows Server 2008の場合

プログラムの一覧から"PostGIS 1.3.2 for PostgreSQL 8.2(remove only)Zend Optimizer"をダブルクリックまたは、選択し、 メニューの[アンインストール]を選びます。削除処理が実行されます。

プログラムの一覧から PostGIS のプログラム名が削除されます。

🐻 プログラムの追	加と削除		
5	現在インストールされているプログラムと更新プログラム: 区 更新プログラムの表示(D)	並べ替え( <u>S</u> ):	名前 💽
ブログラムの   変更と削除(H)	PpenUttice.org 2.3	サイズ	312.00MB 🔺
	🔀 pe Admin III 1.8	サイズ	22.70MB
- <b>1</b>	🔂 PHP 5.2.6	サイズ	13.66MB
プログラムの 16加(N)	🚳 PictBear	サイズ	2.22MB
	PictBear Second Edition 200 RC5	<u>#47</u>	6.02MB
	🚯 PostGIS 1.3.2 for PostgreSQL 8.2 (remove only)	サイズ	126.00MB
Windows コンポーネントの		使用頻度	史 🚽
道加と削除( <u>A</u> )		最終使用日	2008/09/27
	このプログラムを変更したり、コンピュータから削除したりするには、「変更と削除」 をクリック	してください。	変更と削除

6)ファイルの削除をします。

PostgreSQLのデータファイルは、アンインストーラーでは自動削除されません。エクスプローラー等を利用し、手動で 削除する必要があります。異なるバージョンの PostgreSQL をインストールされていない場合、PostgreSQL をインストー ルしたフォルダごと削除します。以下にインストールフォルダの例を示します。

例 PostgreSQL のインストールパス: x:¥Program Files¥PostgreSQL

7) postgres ユーザの削除をします。

Administrator 権限のあるユーザで以下の作業を実施します。

タスクバーの[スタート]ー[管理ツール]ー[コンピュータの管理]で[コンピュータの管理を実行します。

[「ローカルユーザとグループ」配下の[ユーザ]を選択し、「postgres」ユーザを選択反転させ、メニューの[操作]から[削除]を選択するか、右クリックで[削除(D)]を選択します。



コマンドプロンプトで以下のコマンドを実行することでも可能です。

net user postgres /delete

# 添付資料

## 1. ハードウェア選定について

システムを導入するハードウェア選定について説明します。

## 1.1 ハードウェアスペックについて

システムの処理速度(応答性等)は、ハードウェアスペックに大きく依存します。以下に処理時間の計測結果を掲載 しますので、ハードウェア選定の参考にして下さい。

### 1.1.1 **計測ハードウェアのスペック**

以下に処理時間計測時のハードウェアスペックを記載します。

構成	スペック	,	備考
Web サーバ/DB	•CPU	:Xeon DualCore 3GHz	HDD 仕様詳細
サーバ兼用	•RAM	:4096MB	・3.5 インチ SAS 接続
	•HDD	: 147GBx2	•回転数:10,000rpm
	•OS	:Windows Server 2003 SP2(32bit版)	

・実際に運用を行うサーバは、上記ハードウェアスペックでは、ディスク容量が不足するため、適切な容量を 確保する必要があります。

### 1.1.2 計測結果

上記ハードウェアでの計測結果を記載します。ハードウェア選定の参考にして下さい。

No	機能名	対象件数	操作	計測値
1	地図画面初期表示	_	ログイン→地図画面初期表示	6秒
2		_	ログイン→地図画面初期表示	8秒
3	索引図、位置検索	_	索引図、位置検索→地図画面表示	2~10 秒
4	レイヤ切替	_	レイヤ切替→地図画面表示	5~10 秒
5	指定道路登録	_	初期表示	4秒
6	指定道路登録	_	登録→完了	4秒
7	指定道路図登録	_	作成→地図再描画	20 秒
8	指定道路検索	_	初期表示	4秒
9	指定道路検索	_	検索→検索結果表示	4秒
10	情報一覧	_	地図クリック→情報一覧表示	3秒
11	指定道路情報	_	検索結果→指定道路情報表示	7秒
12	背景図取込	川崎市背景図	開始→完了(ログ)	3分30秒
13	背景図取込(索引図)	川崎市の索引図	実行→完了(ログ)	1秒
14	道路図取込	30000件	開始→完了(ログ)	30 秒
15	住所情報取込	川崎市の住所情報	実行→完了(ログ)	1分10秒
16	目標物取込	川崎市の目標物	実行→完了(ログ)	1分20秒
17	道路情報取込(自動リンク指定)	200 件	実行→完了(ログ)	2分50秒
18	道路図出力	30000件	実行→完了(ログ)	5秒
19	公開向け情報出力	川崎市背景図を利用	実行→完了(ログ)	2時間43分10秒

😵 :上記計測結果はあくまでも目安であり、取扱う地域、指定道路本数により計測値は増減します。

## 1.2 ハードディスク容量について

システムで扱うデータ容量は、利用する特定行政庁によって大きく変わります。以下に扱うデータ量と、必要となる ハードディスク容量を記載します。

### 1.2.1 Web サーバのハードディスク容量

以下に Web サーバで必要となるハードディスク容量の算定方式を記載します。

(必須容量)

ファイル種別	算出条件	数量	容量	項目別
			(MB)	容量(GB)
OS	_	1	4000	4
Apache+Mapserver	-	1	220	0.22
アプリケーション	_	1	650	0.65
			(合計)	4.87

(可変容量)

ファイル種別	算出条件	数	容量	項目別
		量	(MB)	容量(GB)
調書関連添付ファイル	・取扱う路線数=A	А	9.000012	(A × 9.000012)
ユーザレイヤの添付ファイ	・1 路線あたりの添付ファイル容量=7(MB)			/1000=P
ル エクスポート(道路図出力)	・ユーザレイヤの添付ファイル1ファイルあたり の容量=2(MB) ・1路線あたりのエクスポート容量=0.000012			
地図画像のキャッシュ	<ul> <li>・取扱う地図面積=D(K m)</li> <li>・数量=D×1400(枚/K m)=E</li> <li>・キャッシュデータ1枚</li> <li>【ケース1】</li> <li>ラスタなし、または2値のラスタの場合 =0.061(MB)</li> <li>【ケース2】</li> <li>フルカラーのラスタありの場合=0.360(MB)</li> <li>・キャッシュデータ3パーン ×3</li> </ul>	E	【ケース1】 0.061 【ケース2】 0.360	【ケース1】の式 (E×0.061) /1000×3=R 【ケース2】の式 (E×0.360) /1000×3=R



ファイル種別	算出条件	数 容量 量 <sub>(MB)</sub>		項目別 容量(GB)
背景データ(Shape)	・生成した背景データ(Shape)=F1(MB)	1	F1	F1/1000=S1
背景(画像)データ(PNG)	・生成した背景(画像)データ(PNG)=F2(MB)	1	F2	F2/1000=S2
エクスポート(公開向け情報 出力)	<ul> <li>・取扱う路線数=A</li> <li>・1 路線あたりの添付ファイル容量=7(MB)</li> <li>・1 路線あたりの道路図データ=1.5(MB)</li> <li>・調書、道路図データ=A×8.5(MB)=G</li> <li>・取扱う地図面積=D(K m)</li> </ul>	1	G+H	(G+H)/1000=U
	・背景データ=((D/0.1)+(D/0.4))×0.020(MB)=H			
インポートのための一時保 存データ容量	<ul> <li>・生成した背景データ(Shape)=F1(MB)</li> <li>・生成した背景(画像)データ(PNG)=F2(MB)</li> <li>・生成した住所データ=J(MB)</li> <li>・生成した目標物データ=K(MB)</li> <li>・生成した道路図データ=L(MB)</li> <li>・生成した道路調書データ=M(MB)</li> <li>・容量=(F1+F2+J+K+L+M)×2=N</li> </ul>	1	Ν	N/1000=V
バックアップファイル	・バックアップ内容=P+S1+S2=W(GB)	1	W×1000	W
			(合計)	P+R+S1+S2+U+V+W

■ 必須容量(4.87GB)と可変容量(P+R+S1+S2+U+V+W)GB)を加算した容量がハードディスク容量として必要になりま

す。

■ 概要書データのサイズは 1.2.3 項に別途記載しています。

### 1.2.2 DB サーバのハードディスク容量

以下に DB サーバで必要となるハードディスク容量の算定方式を記載します。

#### (必須容量)

ファイル種別	算出条件	数量	容量	項目別
			(MB)	容量(GB)
OS	_	1	4000	4
PostgreSQL	-	1	60	0.06
			(合計)	4.06

(可変容量)

ファイル種別	算出条件	数量	容量	項目別
			(MB)	容量(GB)
DBのデータ(調書、道路図、付帯 情報、位置検索)	・取扱う路線数=A ・1 路線あたりの容量=1(MB)	A	1	(A × 1) /1000=Y
バックアップファイル	・バックアップ内容=Y(GB)	1	Y × 1000	Y
			(合計)	Y×2

■ 必須容量(4.06GB)と可変容量((Y×2)GB)を加算した容量がハードディスク容量として必要になります。

■ 概要書データのサイズは 1.2.3 項に別途記載しています。

※ :Web サーバと DB サーバを同一のサーバとする場合、それぞれで必要となるハードディスク容量を加算した容量がハードディスク容量として必要となります。

### 1.2.3 概要書データのハードディスク容量について

1	)Web	サーノ	Ň
---	------	-----	---

ファイル種別	算出条件	数量	容量	項目別
			(MB)	容量(GB)
概要書データ(概要書(一時保存 データ)、添付ファイル、図形(一 時保存データ))	<ul> <li>・取り扱う概要書データ数(複数年分)=A</li> <li>・概要書データ平均サイズ(一時保存データ)</li> <li>=20(KB)/1024=0.0195(MB)</li> <li>・添付ファイル平均データサイズ=C(MB)</li> <li>・概要書1件平均添付ファイル数=D(個)</li> <li>・図形データ(一時保存データ)</li> <li>=1200/1024/1024=E(MB)</li> </ul>	A	A × (B+C × D+E)	A × (B+C × D+E)/1000

#### 2)DB サーバ

ファイル種別	算出条件	数量	容量	項目別
			(MB)	容量(GB)
DBの概要書データ(概要書、図 形)	・取り扱う概要書データ数(複数年分)=A ・概要書データ平均サイズ=20(KB)/1024 =0.0195(MB)	A	A × (B+C)	A× (B+C)/1000
	・図形データ=1200/1024/1024=C(MB)			

## 1.3 ドライブ容量が不足してきた場合の対処

本システムにて利用するインポート/エクスポートデータはインストールしたドライブ内に保存される為、大量のデータを扱った場合ドライブのディスク容量が足りなくなる恐れがあります。その場合の回避策として、シンボリックリンク機能を利用して別ドライブにデータを保存する手順を以下に示します。

### 1.3.1 Windows Server 2003 での対処方法

#### ■Windows Server 2003 Resource Kit Tools のインストール(Windows Server 2003 のみ)

rktools. exe を実行し、[Next]をクリックしてください。

(http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=en&familyid=9d467a69-57ff-4ae7-96ee-b18c4790cffd

#### よりダウンロード可能です。)

👹 Windows Resource Kit To	ools Setup Wizard	×
<b>N</b>	Welcome to the Windows Resource Kit Tools Setup Wizard	
	This wizard helps you install the Windows Resource Kit Tools.	
	Warning: This setup cannot install shared files if they are in use. Before proceeding, we recommend that you close any programs you may be running.	
	Click Cancel to quit this installation and then close any programs you have running. Click Next to continue with this installation.	
	< Back Next > Cancel	

### [I Agree]を選択し、[Next]をクリックしてください。

🖶 Windows Resource Kit Tools Setup Wizard 🛛 🛛 🔀
End-User License Agreement Read the End-User License Agreement carefully and select either "I Agree" or "I Disagree".
END-USER LICENSE AGREEMENT FOR MICROSOFT
IMPORTANT-READ CAREFULLY: This End-User License Agreement ("EULA") is a legal agreement between you (either an individual or a single entity) and Microsoft Corporation for the Microsoft software that accompanies this EULA, which includes computer software and may include associated media, printed materials, "online" or electronic documentation, and Internet-based services ("Software"). An amendment or addendum to this EULA may accompany the Software. YOU
● I Agree
< <u>B</u> ack <u>N</u> ext > Cancel

[Name]、[Organization]を入力し、[Next]をクリックしてください。(未入力でもインストールは続行できます)

🙀 Windows Resource Kit Tools Setup Wizard	×
<b>User Information</b> Supply your user information.	B
Enter your name and organization.	
N <u>a</u> me:	
Organization:	
< <u>B</u> ack <u>N</u> ext >	Cancel

インストールフォルダを指定し、[Install Now]をクリックしてください。

🙀 Windows Resource	Kit Tools Setu	o Wizard		×	
Destination Directory Please select an appropriate destination directory for Windows Resource Kit Tools.					
I <u>n</u> stall Windows Reso C¥Program Files¥Wi Available <u>s</u> pace on lo	urce Kit Tools to: ndows Resource M cal hard disks:	(its¥Tools¥		Br <u>o</u> wse	
Volume	Disk Size	Available	Required	Difference	
<b>○</b> C:	19GB	3567MB	37MB	3529MB	
•				•	
		< <u>B</u> ack	Install Now	<u>C</u> ancel	

インストールが開始されます。

🖶 Windows Resource Kit Tools Setup Wizard 🛛 🗙
Installation Progress Setup will now install the Windows Resource Kit Tools components.
Copying new files
File: pathman.exe, Directory: C:¥Program Files¥Windows Resource Kits¥Tools¥, Size: 6656
<u> </u>
インストールが完了しました。[Finish]をクリックしてください。



■シンボリックリンクの設定

ここでは例としてインポートデータの保存先を別ドライブに設定する手順を示します。(インストールフォルダが 「C:¥roadinfo」の場合)

■ 道路情報登録閲覧システムが利用されていないことを確認してから実施してください。

初期インストール時は「C:¥roadinfo¥application¥public¥upload」がインポートデータの保存先なので、 「C:¥roadinfo¥application¥public¥upload」を別ドライブにコピーします。(ここではコピー先を「E:¥roadinfo」とします)

🗁 E:¥roadinfo			
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気	に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)		
🔇 戻る 🔹 🕥 🔹 🏂 🔎 検索 🌔	フォルダ 🛛 🎹 -		
アドレス(D) 🧰 E¥roadinfo			▼ ラ 移動
	名前	サイズ 種類	更新日時 属性
ファイルとフォルダのタスク ペ		ファイル フォルダ	2010/03/04 16:32
ジ 新しいフォルダを作成する る このフォルダを Web に公開する このフォルダを共有する			
その他 *			
- リムーバブル ディスク(E) - マイ ドキュメント - マイ コンピュータ - マイ ネットワーク			
詳細			
roadinfo ファイル フォルダ 更新日時: 2010年3月4日、16:32			
	•		



コピーが正常に終了した場合、コピー元の「upload」フォルダを削除します。(念の為バックアップをとることをお勧めします)

コマンドプロンプトにて以下コマンドを実行し、シンボリックリンクを作成します。

>linkdロリンク元フォルダ名ロリンク先フォルダ名

リンク元フォルダ名: E:¥roadinfo¥upload

リンク先フォルダ名: C:¥roadinfo¥application¥public¥upload

□ :半角スペース

■ 上記コマンドはリンク先フォルダが存在する場合はエラーとなります。

コマンド プロンプト	×
C:¥roadinfo>	•
C:¥roadinfo>	
C:¥roadinfo>	
C:¥roadinfo>	
C:¥roadinfo>	_
C:¥roadinfo>	
C:¥roadinto>	
C:¥roadinto>linkd C:¥roadinto¥application¥public¥upload E:¥roadinto¥upload	
Link created at: C:¥roadinto¥application¥public¥upload	
C:¥roadinfo}	_1
	-

「C:¥roadinfo¥application¥public¥upload」が作成されていれば設定完了です。

1.3.2 Windows Server 2008 での設定方法

・初期インストール時は「C:¥roadinfo¥application¥public¥upload」がインポートデータの保存先なので、

「C:¥roadinfo¥application¥public¥upload」を別ドライブにコピーします。(ここではコピー先を「E:¥roadinfo」とします)

・コピーが正常に終了した場合、コピー元の「upload」フォルダを削除します。(念の為バックアップをとることをお勧めします)

・コマンドプロンプトにて以下コマンドを実行し、シンボリックリンクを作成します。(「シンボリック リンクの作成」権限のあるユ ーザで実施してください。)

>mklink□/d□リンク□ターゲット

リンク : C:¥roadinfo¥application¥public¥upload

ターゲット: E:¥roadinfo¥upload

ロ・・・半角スペース

※上記コマンドでは、リンクとして新規作成されるフォルダが、空のフォルダか、存在していないフォルダである必要があります。



・「C:¥roadinfo¥application¥public¥upload」が作成されていれば設定完了です。

# 2. データインポート、データエクスポートで出力されるエラーメッセージ

データのバッチ登録処理および管理ツールのデータインポート、データエクスポート機能利用時に管理ツールのログ に出力されるエラーメッセージと対処方法を以下に記します。

エラーメッセージ中の XXXや YYYの表記は、可変で出力する情報となります。

## 2.1 データインポート時のエラーメッセージと対処

1) 背景図取込み

エラーメッセージ	取込みファイル「XXX」中には shape ファイルまたは csv ファイルがないため、処理を行いませんでした。
	取込みファイル「XXX」中に shape ファイル、csv ファイルが存在するか確認して下さい。
対処方法	指定した取込みファイル(zip 形式)内を確認して下さい。

エラーメッセージ	取込みファイル「 <i>XXX</i> 」は展開可能な圧縮ファイルではないため、処理を行いませんでした。
	取込みファイル「XXX」を ZIP 形式に圧縮し再度実行してください。
対処方法	指定する取込みファイルは、zip 形式に圧縮してください。

エラーメッセージ	背景図取込み-【エラー】-画面からの取込みファイル「haikeizu」中にチェックエラーがありま
	す。一部のデータのインポートに失敗しました。フォルダ
	「¥¥roadinfo¥¥application¥¥public¥¥upload¥¥background」内の最新日付フォルダへ出力されてい
	るエラーファイルを参照して下さい。コマンドラインから実行した場合は、引数に指定したフォ
	ルダ配下の各データフォルダを参照し、エラーファイルがないか確認してください。
対処方法	roadinfo¥application¥public¥upload¥backgroundに実行日時のフォルダ(yymmddhhmiss)が作成
	されているので、エラー内容を確認し、取込みファイルの修正を行ってください。

エラーメッセージ	取込みファイル「 <i>XXX</i> 」中の Shape は必要な地番検索データの属性を持っていないため処理を 中断しました。
対処方法	データ交換仕様を確認し、Shape ファイルを修正してください。

エラーメッセージ	シンボル画像「XXX」はファイル名が20文字を超えているため登録できませんでした。
対処方法	メッセージのシンボル画像ファイル名を20文字以下に変更して下さい。

#### 2) 道路図取込み

エラーメッセージ	レイヤ番号「XXX」に対応するレイヤが見つからないため、「XXX」フォルダの取込は行いませ んでした
対処方法	データ交換仕様を確認し、レイヤ番号を修正してください。

エラーメッセージ	指定されたフォルダ「XXX」内にレイヤ番号のフォルダが見つかりませんでした。
対処方法	データ交換仕様を確認し、レイヤ番号のフォルダを配置してください。

エラーメッセージ	取込みファイル「XXX」中には shape がないため、処理を行いませんでした。
	取込みファイル「XXX」中に shape が存在するか確認して下さい。
対処方法	指定した取込みファイル(zip 形式)内を確認して下さい。

エラーメッセージ	取込みファイル「 <i>XXX</i> 」は展開可能な圧縮ファイルではないため、処理を行いませんでした。
	取込みファイル「XXX」を ZP 形式に圧縮し再度実行してください。
対処方法	指定する取込みファイルは、zip 形式に圧縮してください。

エラーメッセージ	取込みファイル「XXX」は指定されたレイヤの図形種別に一致しない shape ファイルです。
対処方法	レイヤ番号と Shape ファイル内で定義している図形種別が一致しているか確認してください。

エラーメッセージ	レイヤ番号「XXX」に対応する未リンクレイヤがないため、処理を行いませんでした。
	レイヤ番号「XXX」に対応する未リンクレイヤを作成し、再実行してください。
対処方法	レイヤ番号もしくは未リンクレイヤが存在するか確認してください。

エラーメッセージ	レイヤ種別が道路図でも付帯情報でもないコード値「 <i>XXX</i> 」のため、既存道路図の削除は行い ませんでした。
対処方法	レイヤ種別のコード値を確認してください。

3) 住所情報取込み

エラーメッセージ	取込みファイル「XXX」中に「YYY」がないため、処理を行いませんでした。	

#### 道路情報登録閲覧システム(庁内版)Ver3.0 一環境構築マニュアル—

	取込みファイル「XXX」中に「YYY」が存在するか確認して下さい。
対処方法	データ交換仕様を確認し、指定した取込みファイル(zip 形式)内を確認して下さい。

エラーメッセージ	取込みファイル「XXX」は csv ファイルがないため、処理を行いませんでした。
	取込みファイル「XXX」csv ファイルが存在するか確認して下さい。
対処方法	データ交換仕様を確認し、指定した取込みファイルに必要となる csv ファイルが含まれている か確認してください。

エラーメッセージ	取込みファイル「XXX」中の csv ファイルにエラーがあります。一部のデータのインポートに失 敗しました。フォルダ「¥public¥upload¥address」内の最新日付フォルダへ出力されているエラー ファイルを参照して下さい。
対処方法	roadinfo¥application¥public¥upload¥address に実行日時のフォルダ(yymmddhhmiss)が作成され ているので、エラー内容を確認し、取込みファイルの修正を行ってください。

#### 4) 道路情報取込み

エラーメッセージ	取込みファイル「 <i>XXX</i> 」は展開可能な圧縮ファイルでないため、処理を行いませんでした。
	取込みファイル「XXX」を ZIP 形式に圧縮し再度実行してください。
対処方法	指定する取込みファイルは、zip 形式に圧縮してください。

エラーメッセージ	再登録可能なフォルダが存在しないため、処理を行いませんでした。
	再登録可能なフォルダ[¥public¥upload¥roadinfo¥error¥]配下にフォルダが存在するか確認してく
	ださい。
対処方法	roadinfo¥application¥public¥upload¥errorに再登録可能なフォルダが配置済みであるか確認して ください。

エラーメッセージ	取込みファイル「XXX」中には必要なファイル「YYY」がないため、処理を行いませんでした。
	取込みファイル「XXX」中に「YYY」が存在するか確認して下さい。
対処方法	データ交換仕様を確認し、指定した取込みファイル(zip 形式)内を確認して下さい。

エラーメッセージ	取込みファイル「XXX」中の csv ファイルにエラーがあります。 一部のデータのインポートに失
	敗しました。

#### 道路情報登録閲覧システム(庁内版)Ver3.0 —環境構築マニュアル—

	フォルダ[¥public¥upload¥roadinfo¥error¥]内の最新日付フォルダへ出力されているエラーファイ ルを参照して下さい。
対処方法	roadinfo¥application¥public¥upload¥roadinfo ¥error に実行日時のフォルダ(yymmddhhmiss)が作 成されているので、エラー内容を確認し、取込みファイルの修正を行ってください。

### 5)目標物情報取込み

エラーメッセージ	取込みファイル「XXX」中に「'landmarkcode.csv または landmark.csv'」がないため、処理を行い ませんでした。取込みファイル「XXX」中に「landmarkcode.csv または landmark.csv'」が存在す
	るか確認して下さい。
対処方法	データ交換仕様を確認し、指定した取込みファイルに必要となる csv ファイルが含まれている か確認してください。

エラーメッセージ	取込みファイル「 <i>XXX</i> 」は展開可能な圧縮ファイルではないため、処理を行いませんでした。
	取込みファイル「XXX」を ZIP 形式に圧縮し再度実行してください。
対処方法	指定する取込みファイルは、zip 形式に圧縮してください。

エラーメッセージ	取込みファイル「XXX」中の csv ファイルにエラーがあります。一部のデータのインポートに失 敗しました。フォルダ「¥public¥upload¥landmark」内の最新日付フォルダへ出力されているエラ ーファイルを参照して下さい。
対処方法	roadinfo¥application¥public¥upload¥ landmark に実行日時のフォルダ(yymmddhhmiss)が作成されているので、エラー内容を確認し、取込みファイルの修正を行ってください。

#### 6) 索引図取込み

エラーメッセージ	取込みファイル「XXX」は展開可能な圧縮ファイルではないため、処理を行いませんでした。取 込みファイル「XXX」を ZIP 形式に圧縮し再度実行してください。取込みファイル「XXX」を ZIP 形
	式に圧縮し再度実行してください。
対処方法	指定する取込みファイルは、zip 形式に圧縮してください。

エラーメッセージ	取込みファイル「XXX」内にレイヤ番号のフォルダが見つかりませんでした。
対処方法	データ交換仕様を確認し、レイヤ番号のフォルダを追加してください。

#### 7) 背景図(画像)取込み

エラーメッセージ	XXXはフォルダではないため、処理を行いませんでした。
	取込みフォルダ XXX 中に必要なファイルがないため、処理を行いませんでした。
	取込みフォルダ XXX 中に XXX が存在するか確認して下さい。
	取込みフォルダ XXX 中に必要なフォルダがないため、処理を行いませんでした。
	取込みフォルダ XXX 中に XXXフォルダが1以上存在することを確認して下さい。
	scaleXXXフォルダの XXX png に対応する XXX pgw が存在しません。
	scaleXXXフォルダのXXXの拡張子が正しくありません。
	scaleXXXフォルダに png 形式のファイルが存在しません。
	scaleXXXフォルダが存在しません。
対処方法	データ交換仕様を確認し、指定した取込みフォルダに必要なフォルダやファイルが存在するか
	を確認してください。

エラーメッセージ	管理情報ファイルの行数が規定の行数ではありません。
	管理情報ファイルの XXX 行目の項目数が違います。
	管理情報ファイルの1行目の制御情報に指定した名称は既に使われています。
	管理情報ファイルの1行目の表示指定は0か1のいずれかを入力してください。
	管理情報ファイルの XXX 行目の XXX は XXX ~ XXX の間で入力して下さい。
	管理情報ファイルの XXX 行目の XXX は必須入力です。
	管理情報ファイルの XXX 行目の XXX は半角数値で入力してください。
	管理情報ファイルの XXX 行目の XXX の値が正しくありません。
	管理情報ファイルの XXX 行目の XXX は以上の値を入力して下さい。
	レイヤのスケール情報の取得に失敗しました。
	レイヤの縮尺情報が総合して、重複もしくは抜けがある、昇順ではない等、適切ではありませ
	<i>λ</i> <sub>°</sub>
対処方法	データ交換仕様を確認し、管理情報ファイルの内容を確認してください。

エラーメッセージ	scaleXXXフォルダのXXXの値は全て半角小数値で入力してください。
	scale XXX フォルダの XXX の行数が 6 行ではありません。
対処方法	データ交換仕様を確認し、ワールドファイルの内容を確認してください。

#### 8) 背景図(画像)削除

エラーメッセージ	「XXX」というレイヤは存在しませんでした。
対処方法	削除したい背景図(画像)のレイヤ名を確認してください。

#### 9) データ移行取込み

エラーメッセージ	取込みフォルダ「XXX」中に必要なファイルがないため、処理を行いませんでした。
	取込みフォルダ「XXX」中に「XXX」が存在するか確認して下さい。
	取込みフォルダ「XXX」中に必要なフォルダがないため、処理を行いませんでした。
	取込みフォルダ「XXX」中に「XXX」が存在するか確認して下さい。
対処方法	指定した取込みフォルダにデータ移行整備用のデータが正しく配置されているか確認してくだ
	さい。

エラーメッセージ	取込みフォルダ「XXX」中の SRID がシステムの SRID (XXX)と一致しないため、取込みを行いま せんでした。
対処方法	SRID が一致しない場合、取込みを行いません。指定した取込みフォルダにあるデータ移行整備用のデータが取込みを行うシステムと同一の SRID を持つシステムから出力されたデータか 確認してください。

### 2.2 データエクスポート時のエラーメッセージと対処

#### 1) 公開向け情報出力

エラーメッセージ	画像エクスポート処理 - 地理的範囲定義データが存在しないため出力は行いません。
対処方法	背景図のインポートを一括登録で再度行ってください。